

平成30年度

教育委員会自己点検・評価  
報告書

塩尻市教育委員会

# 目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
事業部ミッション	5
こども教育部	5
市民交流センター・生涯学習部	13
事務事業評価シート	20
こども教育部	20
市民交流センター・生涯学習部	26
教育委員会個別計画成果指標等	31
塩尻市教育振興基本計画	31
元気っ子育成支援プランⅡ	33
塩尻市生涯学習推進プランⅢ	35
塩尻市スポーツ推進計画	37
図書館サービス計画	39
子ども読書活動推進計画	40
平成29年度 塩尻市教育委員会会議等記録	41

## 塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

### (1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

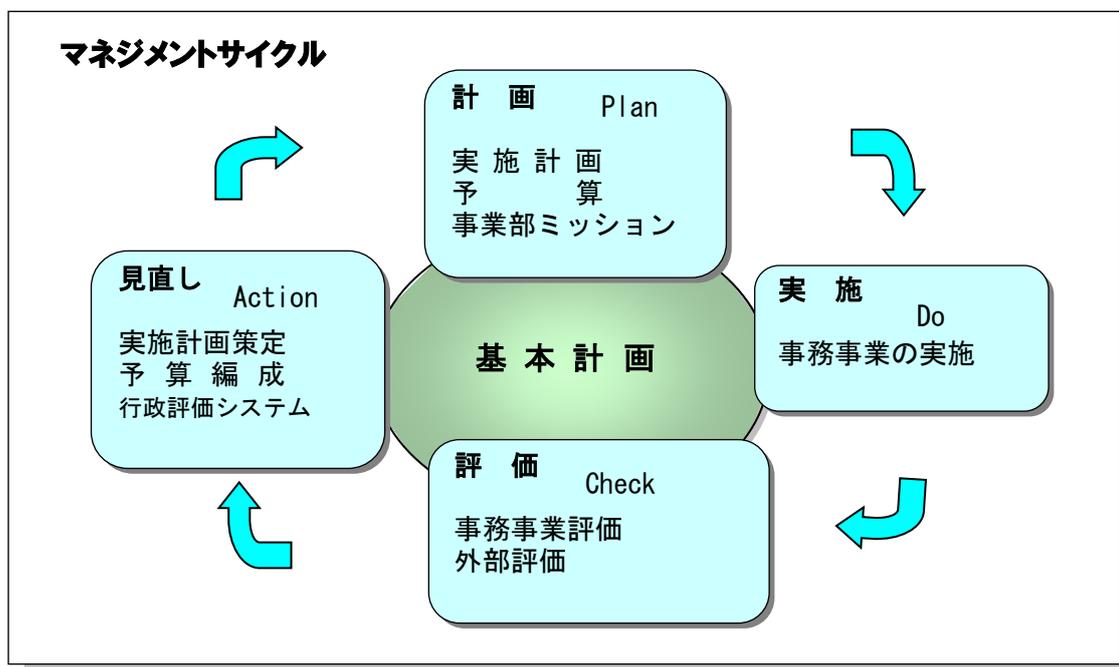
### (2) 制度導入の目的

#### ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

#### イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部ミッションに基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan：計画** → **Do：実施** → **Check：評価** → **Action：見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



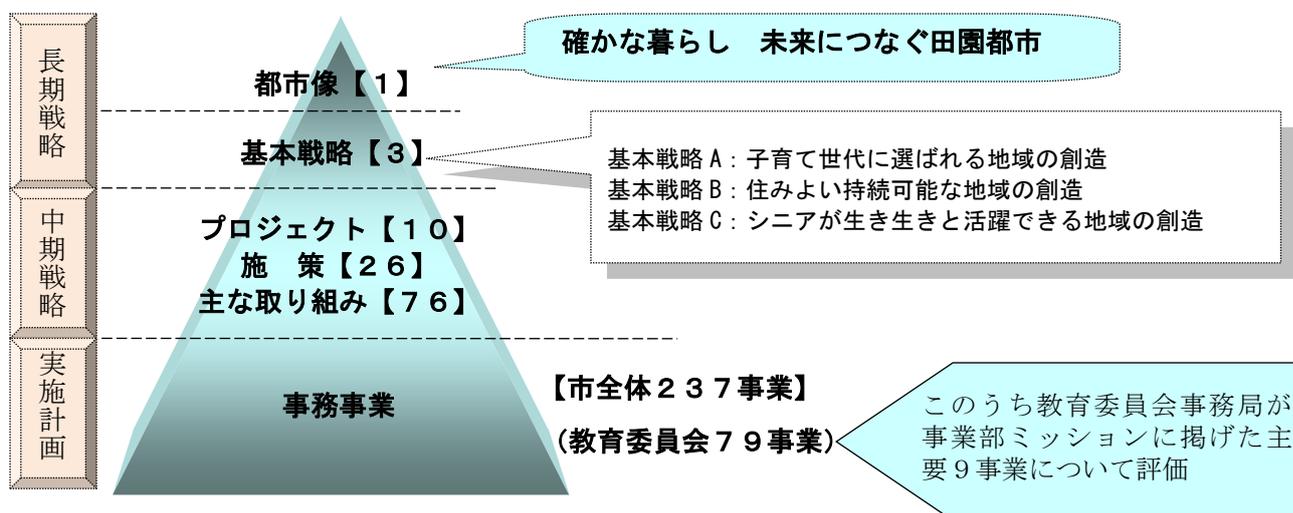
#### ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

### (3) 評価対象事業

教育委員会事務局（こども教育部、市民交流センター・生涯学習部）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの9事業について自己点検評価を行います。

#### 【第5次塩尻市総合計画の施策体系】



#### ○教委委員会関係事業等の内訳

	行政評価システム（市企画課）		教育委員会	
	事務事業数	評価対象の事務事業	事業部ミッション（年度当初に作成）	自己点検・評価対象事業
こども教育部	47	43	3	5
市民交流センター・生涯学習部	32	22	5	4
合計	79	65	8	9

### (4) 評価のプロセス

市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。

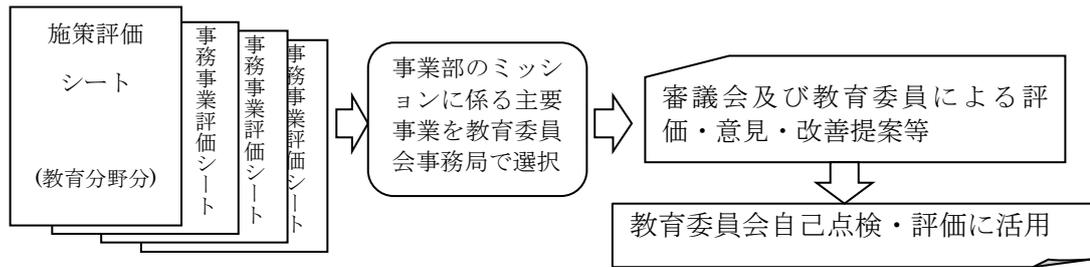
以上の手順で評価を行い、担当課により改善内容を策定しております。

#### ■第5次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

実施時期	H30年6月	H30年9月～11月
評価名	H29事後評価	H30事中評価
目的・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標の分析</li> <li>決算説明資料への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の課題抽出</li> <li>改革、改善案の提案</li> <li>次年度の予算編成に活用（予算との連動）</li> </ul>

## イメージ図



### (5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、平成30年10月16日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

#### 塩尻市教育振興審議会

##### 1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

##### 2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 平成29年10月1日から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・有路 憲一 氏 信州大学全学教育機構 准教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 専任講師
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

第1回 平成30年10月16日

第2回 平成30年11月20日

#### 【参考 関係例規】

##### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

##### ○塩尻市教育振興審議会条例

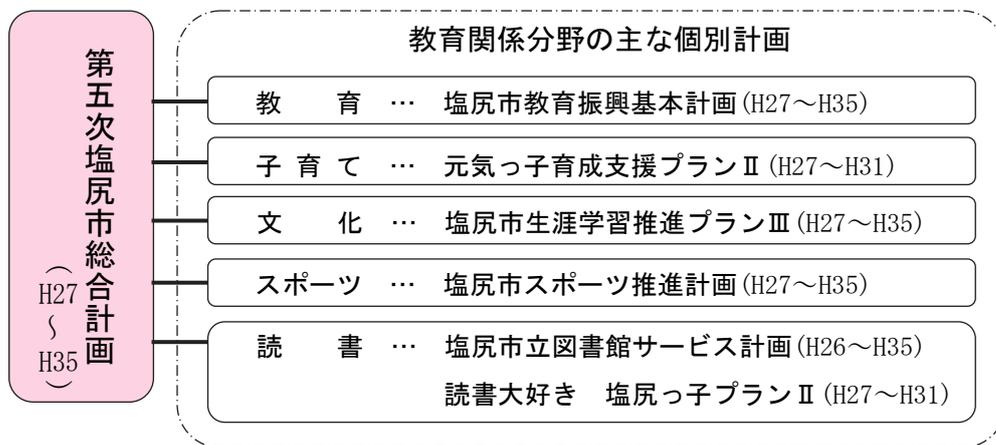
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

## (6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第5次塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。



( )内は計画期間

# こども教育部

## 事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
1	1-1-2 地域の子育て環境の充実	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	9.6%	2017			減少
		子育て支援センタープレイルーム利用者数	30,172人	2016			31,000人
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備	1-1 出産・子育てサポート体制の充実			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化の進展、母親の就労が増加する中で、3歳未満児の保育園入園のニーズが増加傾向で推移している。そのため、家庭内での愛着の形成を図りつつ、親子がつながりを広げ、安心して子どもを育てることができる環境を充実させる必要がある。</li> <li>安心して子育てができる環境を整備するために、子育て世帯へ、遊びや交流の場所の提供、子育てに関する情報発信及び地域で子育てを応援していく必要がある。</li> <li>北部拠点の建設で北部子育て支援センターが移転することになり、そのための準備や市民への周知が必要になる。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳未満児を家庭で育児している保護者と子どもを対象とした「親子でイクジー・えんぱー保育園」の開催</li> <li>○家庭や地域に向けた子育て情報の提供、保育講演会の開催、地域及び関係機関との連携</li> <li>○元気っ子育成支援プランⅢ策定に向けたニーズ調査の実施及び元気っ子育成支援プランⅢの策定</li> <li>○子育て支援センターの利用促進と、北部子育て支援センター移転に伴う、北部地域住民へのPRと利用促進</li> <li>○ファミリーサポート制度の周知を図り、利用促進につながる有効な手段を検討</li> <li>○北部エリアの利用者増を見込み、ファミリーサポートの主要事務を北部子育て支援センターに移管</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	にぎやか家庭応援事業(子育て支援分)	こども課	・幼少期における家庭での育児の大切さについて啓蒙するため、未就園児を抱える保護者をターゲットに、保育講演会やえんぱー保育園を開催するとともに、子育て支援に関して積極的な情報を発信する。				
	子ども・子育て会議運営事業	こども課	・元気っ子育成支援プランⅢの策定に向けて、国からの情報を注視しながら、市民に対するニーズ調査を実施し、その結果の取りまとめや分析等を行う。				
	子育て支援センター事業	子育て支援センター	・おでかけ支援センターの実施や各種講座の開催により、利用者の増加を目指すとともに、北部子育て支援センターのお別れ会及び移転1年前イベント等の開催により、北部地域の利用者拡大を図る。				
	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援センター	・0～3歳児の育児サポートを希望する会員に配布している無料利用助成券の配布方法を検討し、有効活用と利用促進を図る。				
こども広場事業	子育て支援センター	・子育てに関する講座等の開催、木育フェスティバルへ参加する中で、利用者の増加と遊び環境の充実及び木育の推進を図る。					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
2	1-1-3 子育て世帯への経済的支援	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	9.6%	2017			減少
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備	1-1 出産・子育てサポート体制の充実			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多子世帯等への保育料の減免について、国の幼児教育の段階的無償化に係る制度改正の動向にも注視をしつつ、状況を見極めながら対応をしていく必要がある。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育園及び認定こども園に入園している多子世帯への保育料減免(3歳以上児で第2子半額、第3子全額減免)の実施</li> <li>○私立幼稚園及び認可外保育施設に入園している多子世帯への保育料減免(3歳以上児で第2子半額、第3子全額減免)のためのにぎやか家庭保育料等補助金の交付</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	・子育て家庭の経済的負担を軽減するため、多子世帯への保育料を減免する。				

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値	[基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
3	1-2-1 家庭支援の充実	児童千人当たりの児童虐待相談件数	6.8	2016			県平均より低
	全市戦略における位置付け	1 子どもを産み育てる環境の整備	1-2 子どもの育ちや環境に応じた支援				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待相談件数が増加しており、児童千人当たりの相談件数が、県平均(5.9件)を上回っている。</li> <li>地域での学習支援など、子どもの居場所が求められている。</li> <li>地域に中高校生の居場所や相談できる場が少ない。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇元気っ子応援事業の推進、18歳以降の若者サポート事業への繋ぎ</li> <li>〇子育て支援連絡会、アセスメント会議を充実させ、妊娠、出産から子育てへ切れ目のない支援の充実</li> <li>〇子ども家庭総合支援拠点の運営と、子育て世代包括支援センターとの連携の強化</li> <li>〇子どもの未来応援協議会を設置し、子どもを核としたネットワークの構築と、地域での学習支援など子どもの居場所づくりの促進</li> <li>〇例えば一や北部拠点を活用した中高校生の居場所(学習機能、相談機能)の検討</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
元気っ子応援事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校へのフォローアップ、子育て応援教室、医療相談、ことばの相談などを実施する。</li> <li>高校との連携を強化し、ネットワークを構築する。また、18歳以降の若者サポートへの繋ぐしきみを検討する。</li> </ul>					
家庭支援推進事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待の未然防止、早期発見、重大化を予防するため、子育て世代包括支援センター等との連携を一層強化し、相談、訪問事業を行う。特に、養育支援訪問員を配置し、養育支援訪問事業の拡充を図る。</li> </ul>					
こどもの未来応援事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの未来応援協議会を設置し、地域での学習支援を核とした子どもの居場所づくり(しおじり子どもの寺子屋事業)を促進し、子どもが地域の大人など第三者との関わりの場をつくる。また、子どもの居場所に、地域のシニアや市職員が関わるしきみを進める。</li> </ul>					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値	[基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
4	1-3-1 保育環境の充実	デイ保育室のエアコン設置室数	1	2017			3
		希望の保育園に就園している園児の割合	95.7%	2017			95.7%
		給食調理業務評価結果	93.0%				93.0%
	全市戦略における位置付け	1 子どもを産み育てる環境の整備	1-3 働く世帯のための子育て支援				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進む保育園施設の計画的な修繕、整備を行い、快適な保育環境の提供と建物の延命を図る必要がある。</li> <li>塩尻駅北土地区画整理事業に伴い、入園児童数が増加することが見込まれることから、施設整備について検討する必要がある。</li> <li>3歳未満児の保育園入園希望が増加傾向にあり、保育施設のハード面の整備と保育士の安定的な確保に向けた対策が喫緊の課題である。</li> <li>給食備品の老朽化により、不測の故障による安定的な給食提供への影響が懸念される。</li> </ul>					
3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇老朽化した保育園施設の改修、維持管理による施設の延命と、安心安全で快適な保育環境の確保</li> <li>〇公立保育園15園の運営</li> <li>〇保育園の給食調理業務のプロポーザル方式による外部委託と給食備品の計画的な更新による安全安心な給食の提供</li> <li>〇未就園児と保護者を対象にしたあそびの広場を実施し、多様な育児環境(世代間交流、郷土文化伝承)の提供</li> <li>〇市内の民間保育所に対する補助金の交付</li> <li>〇保育補助員の公立保育園全園配置による高齢者と園児とのふれあいを通じた情緒発達等への支援</li> </ul>						
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
保育所施設改善事業	教育総務課	吉田ひまわり保育園及び広丘野村保育園のデイ保育室にエアコンを設置する。					
保育所運営費	こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れ、健やかな成長を図るとともに、保護者の育児と就労の両立を支援するため、一時保育等の特別保育を実施するなど、ニーズに沿った保育所運営を推進する。</li> </ul>					
給食運営費	こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の良い安心安全な給食の提供及び食育推進を目的とした調理業務委託を継続し、園児の心身の健全な成長発達や、望ましい食習慣の定着を推進する。</li> </ul>					
育児支援推進事業	こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>あそびの広場事業などの実施により、世代間交流や郷土文化伝承事業など多様な育児環境の提供や、子育て相談を行う。</li> <li>病児病後児保育の実施により、親の仕事と育児の両立を支援する。</li> </ul>					
民間保育所支援事業	こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で民間が運営する保育園、認定こども園、認可外保育施設の安定的な運営を図るため、運営費、延長保育等に対する補助金を交付する。</li> </ul>					
保育補助員設置事業	こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化が進行する中で、各園1名ずつの保育補助員設置により高齢者の優しさや温かさに触れることで精神的な安定感と思いやりの心を育む。</li> </ul>					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
5	1-3-2 放課後児童の居場所確保	放課後児童クラブ等の申込みに対する充足率	100%	2017			100%
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備		1-3 働く世帯のための子育て支援		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館の利用者数の増加に対応するため、施設整備について検討する必要がある。</li> <li>放課後児童クラブ等の利用の有償化を検証するとともに、母親の就労状況が増加する中で、放課後児童クラブ等の利用が増加傾向である。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広丘児童館の建設</li> <li>○旧勤労青少年ホームの解体</li> <li>○広丘西保育園の改修</li> <li>○児童館、児童クラブ、放課後キッズクラブの運営に係る検証と充実(利用時間の細分化、料金設定など制度を見直して運営)</li> <li>○児童クラブ等による子どもの居場所の提供と、学校教職員経験者の館長登用による小学校との連携及び学習支援の強化</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
広丘児童館建設事業	教育総務課	・広丘児童館建設、旧勤労青少年ホーム解体のための測量、実施設計等を行う。					
児童館・児童クラブ運営費	こども課	・保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、夏休みなどの学校休業日において、遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して、児童の健全育成を図ることを目的に児童クラブを運営する。					
放課後キッズクラブ運営費	こども課	・保護者が昼間家庭にいる児童に対しても、児童クラブ同様に、遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して、児童の健全育成を図ることを目的に放課後キッズクラブを運営する。					

# こども教育部

## 事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
1	2-1-1 時代の変化に対応した学力の向上	外国の人と友だちになったり、外国のことについて、もっと知ったりしてみたいと思う小学生の割合(小6)	71.0%	2017			増加
		ICT活用研修の開催数	50回	2017			50回
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・小学校英語教育の早期化・教科化へ向けて教職員の資質向上や、ICT活用教育推進のための教職員の指導力向上、児童生徒に対する情報モラル教育等が課題である。					
	3年間の概要	○児童の英語力向上ため、英語教育担当指導主事を中心とし教職員の英語力の向上及び指導力の強化 ○児童生徒の情報モラル教育等を推進するため、情報教育担当指導主事を中心とした研修等による教職員のICT活用力の向上 ○学習指導要領や教科書改訂に伴う指導書等の教材の購入					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小学校英語活動サポート事業	教育総務課	・次期学習指導要領の全面実施に向けて、英語教育担当指導主事を中心に、小学校の教職員の英語力の向上や指導力の強化を図る。				
	教育センター情報教育推進費	教育総務課	・教職員に対するICT活用研修、授業支援、児童生徒や保護者に対する情報モラル研修の開催、プログラミング教育に関する研究等に取り組む。				
	小中学校情報教育推進費	教育総務課	・パソコン等の情報機器の管理運営や、それを活用した学習活動の推進を図る。				
	小中学校新学習指導要領対応事業	教育総務課	・「道徳」の教科化に対応する教材等の購入や、教科書改訂に関する事務を行う。				
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
2	2-1-2 健やかな成長の支援	学校給食レストランの開催数	75回	2017			75回
		毎日朝食を食べる中学生の割合(中3)	96.0%	2017			96.5%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・給食のアレルギー対応が必要な児童生徒の増加、給食費の未納解消への対応が必要となっている。 ・スマートフォン等の所持の低年齢化、所持率の上昇もあり、子どもの成長発達への影響が懸念される。					
	3年間の概要	○自校給食を堅持し、安全安心でおいしい給食の提供による児童生徒の心身の成長を支援 ○アレルギー完全除去対応の継続 ○給食食材の地産地消、食育に関する企画等の推進 ○給食費の児童手当からの徴収の拡大 ○「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動を行政、関係団体等が協働して推進 ○スマートフォン等のメディアが、子どもの成長に及ぼす影響等の啓発					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	給食運営事業事務諸経費	教育総務課	・地産地消コーディネーターと連携した食材の地産地消の推進、給食レストラン開催による食育活動の推進、給食費の児童手当徴収の拡大に取り組む。				
	こどもの未来応援事業	家庭支援課	・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動を行政、関係団体等が協働して推進する。 ・スマートフォン等のメディアが、子どもの成長に与えるリスク等について啓発する。				

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
3	2-1-3 体験型学習の推進	体験学習フェスティバルの開催	1回	2017			1回
		「総合的な学習の時間」に自ら課題を立てて学習に取り組む小学生の割合(小6)	71.7%	2017			72.0%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・外で遊ぶ子どもが減少し、子どもたちが自ら考えて行動する機会が減っている状況にある。体験学習プログラム等を通して、子どもたちの生きる力を育み、社会を生き抜く力を身につけることが重要となる。					
	3年間の概要	○体験学習フェスティバルの開催による親子のふれあう場の機会創出 ○塩嶺体験学習の家の周知 ○学校活動における、リーダー的な存在となる児童生徒の育成					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
こども未来塾等運営事業	教育総務課	・こども未来塾等の活動を通して、児童生徒の生きる力を育むとともに、塩嶺体験学習の家の周知を図る。					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
4	2-1-4 地域と連携した教育体制の充実	学校と地域が連携して実施した事業の実施数	120件	2016			135件
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・市内全小中学校に導入したコミュニティ・スクールの今後の継続性が重要となる。 ・支えとなる学校支援ボランティアの拡充に向けて、コミュニティ・スクールの周知が重要となる。					
	3年間の概要	○学校が創意工夫して実施する特色ある教育活動に対する交付金の交付 ○学校支援ボランティアなどの関係者や市民に対する研修や周知等によるコミュニティ・スクールの充実 ○地域と連携した体験型学習等の推進					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小中学校特色ある教育活動事業	教育総務課	・「生きる力を育む交付金」を小中学校に交付し、特色ある教育活動を推進する。				
地域連携教育推進事業	教育総務課	・学校支援コーディネーターを配置し、コミュニティ・スクールによる、地域に開かれた学校運営を推進する。 ・(仮称)キャリア教育支援センターの設置に向けた検討を進める。					

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
5	2-2-1 教育のセーフティネットの充実	学校生活が充実していると感じている中学生の割合(中3)	61.0%	2016			63.0%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援		2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての児童生徒が、個性や特性に応じて必要な教育を受けられるよう、きめ細かな指導や学習支援の充実を図る必要がある。</li> <li>不登校児童生徒が増加傾向にある。</li> <li>個別の配慮を要する児童生徒が増加しており、学校現場における支援介助員等の増員のニーズが高まっている。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後等の学習支援活動による学力の定着</li> <li>○不登校児童生徒に対する中間教室の運営、支援員の相談等による支援</li> <li>○新規不登校ゼロを目標とした取組みの推進</li> <li>○外国籍児童生徒に対する日本語学級の運営による支援や、講師の配置による少人数学習等の推進</li> <li>○支援介助員等の配置、教職員への研修等を行い、校内支援体制の強化</li> <li>○特別支援学校に在籍する児童生徒との交流を進める副学籍制度の推進</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	教育振興諸経費	教育総務課	・児童生徒の学力向上のため、放課後等の時間において、地域の人材等を活用した学習支援活動を行う。				
教育相談研究事業	教育総務課	・教育相談、中間教室の運営、日本語学級の運営等による、きめ細かな指導や学習支援を推進する。 ・支援シートを活用した、担任教諭による早期対応を推進する。					
まなびサポート事業	家庭支援課	・支援介助員を小中学校に配置するとともに、教職員の研修、学校現場へ検証、助言等を行い、学校内の支援体制の強化を図る。					
No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値	
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
6	2-2-2 学校環境の充実	学校に行くのは楽しいと思う小学生の割合(小6)	88.1%	2017			89.0%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援		2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の登下校時の安全対策や、良好な学習環境の確保が重要であることから、通学路合同点検による対策の実施、学校施設の改修等を行う必要がある。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の特別行事等の活動支援による教育内容の充実と保護者負担の軽減</li> <li>○地域児童見守りシステムの運用や、通学路合同点検による登下校の安全確保</li> <li>○計画的な学校の改修や環境整備による教育環境の向上</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小中学校補助交付金	教育総務課	・校外活動等の特別行事等への補助金等を交付し、教育内容の充実と保護者負担の軽減を図る。				
学校安全支援事業	教育総務課	・児童生徒の登下校時の安全を確保するため、地域児童見守りシステムの運用や、関係機関等と連携した通学路合同点検を行う。					
小中学校プール改修事業	教育総務課	・老朽化した桔梗小学校のプール改修を行い、安全性の向上と教育環境の整備を図る。					
小中学校施設改善事業	教育総務課	・学校施設の営繕修繕を行うとともに、木曾檜川小学校のトイレ、塩尻東小学校の貯水槽及び丘中学校のプール改修の実施設計や、中学校の天井扇設置工事を行う。					
小中学校大規模改修事業	教育総務課	・吉田小学校及び塩尻中学校の大規模改修工事を行う。					
小中学校増築事業	教育総務課	・桔梗小学校及び広陵中学校の児童生徒数増加への対応として、プレハブ校舎の建設を検討する。					



# こども教育部

## 事業部ミッション3

新体育館が、既存の商業・文化・スポーツ等の地域資源の核として、市民や来訪者の交流、スポーツを通じた市民の健康増進等を促すとともに、イベント等の誘致・開催による交流・集客の機会を創出する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗			目標値
			値	[基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	4-2-3 スポーツを通じた交流の促進	建築工事の進捗(率)	0%	2017				100%
	全市戦略における位置付け	4 地域資源を生かした交流の推進		4-2 新たな交流・集客の推進				
	目標とのギャップ・課題	新体育館の完成を見据え、運営管理者を早期に決定し運営の効率化と維持管理費の削減を目指す必要がある。						
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新体育館に係るCM(コンストラクション・マネジメント)を取り入れた実施設計、施工の実施</li> <li>○開館に向けた運営管理者の選定</li> </ul>						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
新体育館建設事業	新体育館建設プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計施工一括発注方式により事業者を決定し、実施設計を進める。</li> <li>・事業用地の取得を完了する。</li> </ul>						

# 市民交流センター・生涯学習部

## 事業部ミッション1

・芸術、文化、スポーツ等の地域資源を生かして、市民や来訪者の交流を促す場を整備するとともに、イベント等の誘致・開催による交流・集客の機会を創出します。  
 ・集客核となる歴史的町並みを世代を越えた財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存します。

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
1	4-1-2 歴史的資源の保存と活用	奈良井・木曾平沢の重要伝統的建造物群保存地区の町並みを誇りに思う市民の割合	75.1% [2017]			76.0%
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-1 観光の振興		
	目標とのギャップ・課題	・重伝建の町並みを保存していくために、地区内の建物の修理・修景が必要となるが、住民の世代交代や保存組織の人員変更に伴い、保存事業の重要性や基本的な制度の仕組みの理解について希薄化する傾向にある。				
	3年間の概要	○修理・修景事業の実施 ○伝建地区内での事業要望のとりまとめ ○町並み相談会の開催 ○文化庁・県との事業費を含めた事業内容の確認 ○国重要文化財 堀内家半解体修理				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	重伝建整備事業	社会教育課	・経年劣化する伝建地区奈良井・木曾平沢地区内の建造物、工作物を、修理・修景という二つの手法により、文化財として保存及び景観整備(奈良井・木曾平沢 各2件)を行うと共に、町並み相談会の実施や保存組織に対し住民への勉強会を促していく。			
	国指定文化財修理事業	社会教育課	・国指定文化財「堀内家住宅」の半解体修理を完了し、「小野家住宅」と共に活用を計画していく。			
No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
2	4-2-2 文化資源を活用した交流活動の促進(短歌フォーラムの実施)	短歌フォーラムへの投稿者数	16,452人 [2013]			17,000人
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進		
	目標とのギャップ・課題	・短歌フォーラムは、ここ数年、若年層の投稿割合は増加しているが、投稿者数についてはおよそ1,400人と低迷している。大会規模が投稿者数に対し、当日の来場者数が見合っていないのが問題である。				
	3年間の概要	○全国短歌フォーラムin塩尻の開催(第32・33・34回) ○短歌に関する資料収集、整理保管、歌人の遺品等の收藏・短歌大学、企画展の開催				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	全国短歌フォーラム事業	社会教育課	・投稿が増えている若年層を中心ターゲットとし、インターネットでの投稿が可能である旨の周知や、大会当日足を運んで頂けるようなコラボイベント等を検討していく。			

		値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
4-2-2	文化資源を活用した交流活動の促進(文化施設の運営・歴史遺産の活用)	文化施設入館者数	66,112人 [2016]		67,500人	
全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進			
目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設共に経年劣化が進んでおり、営繕修繕が必要である。また、入館者が減少傾向である一方、檜川文化施設では外国人入館者が増加傾向であり、受け入れ側の対策の充実が急務である。</li> <li>平出遺跡公園ガイダンス棟や学校・地域等の地域学習や体験学習の重要性が高まり、様々な団体や機関が連携し、多様でより効果的な学習機会の提供に至っていない。</li> </ul>					
3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各館の管理運営</li> <li>企画展、講座等の開催</li> <li>歴史等地域遺産に関する体験を通じた学習機会の提供</li> <li>市民ボランティア等の活躍による体験学習の充実</li> <li>地域遺産等への関心を高める解りやすいガイダンス活動の充実</li> <li>地域と連携協力した学習活動の運営</li> <li>平出遺跡公園及びガイダンス棟の効果的な運営と適切な管理</li> <li>文化財や歴史文化資源等の収集・保管・調査研究を行う。</li> </ul>					
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
3	檜川文化施設運営事業	社会教育課	各施設の適切な運営と、講座等を開催すると共に、外国人への説明板(当面は英語表記)の掲示や職員のスキルアップを図る。			
	短歌館運営事業	社会教育課	修繕の適時実施や短歌大学の継続開催を行う。 本年度は喜志子没後50年、牧水没後90年の年であるので企画展を開催する。			
	自然博物館運営事業	社会教育課	旧態以前の企画展ではなく、違う目線での開催の検討や、参加し易い自然科学講座、自然観察会等の開催を実施する。			
	平出博物館運営事業	社会教育課	昨年実施したこれまでとは違う切り口で行った企画や、テーマを絞って考古・歴史・民俗等の歴史遺産を公開展示し活用を図っていく。			
	平出遺跡公園事業	社会教育課	「公園」に市内から多世代に渡り来園いただけるよう、体験教室、体験イベント等を開催するとともに、学校中心に地域学習活動が行われるよう教頭先生を通じ情報発信を行っていく。			
	ひらいでの里魅力づくり事業	社会教育課	地域資源の再認識及び活用手法について懇談会等で調査検討するとともに、「ひらいで遺跡まつり」等の催事を地域と連携し開催するなかで、広く魅力を発信する。			
	埋蔵文化財事業	社会教育課	埋蔵文化財の整理及び記録保存を図るとともに、史跡等の保護や埋蔵文化財包蔵地等に係る保護指導や調査を行う。			
	本洗馬歴史の里運営事業	社会教育課	近年実施している、洗馬地区の歴史や文化に特化した企画展等の事業を継続し、親しみを持ち、地域づくりに役立つよう講座や企画展を開催する。			
No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗	目標値	
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
4-2-3	スポーツを通じた交流の促進	スポーツ施設利用者数	502,335人 [2016]			510,000人
		週1回以上スポーツ活動を行う市民の割合	32.9% [2017]			40.0%
全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進			
目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぶどうの郷ロードレースは、9回の開催を重ねる中で、参加者数が減少する傾向である。</li> <li>スポーツをする市民の割合は国や県の平均を下回っている一方、体育施設の空きがない状況となっている。</li> <li>市民祭参加者数は年々減少傾向であり、競技スポーツの振興を図っていく必要がある。しかし、各競技団体の指導者、大会運営を支える競技役員の高齢化が進んでおり、人員の確保が近々の課題である。</li> </ul>					
3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩尻ぶどうの郷ロードレース</li> <li>各種スポーツ教室</li> <li>スポーツ振興事業の実施</li> <li>市民体育祭や各種大会の運営委託により競技力を向上</li> <li>市内10地区の地区体協によるスポーツ振興事業の実施</li> <li>市体育協会の事務局運営の安定のための補助金支出</li> </ul>					
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	市民スポーツ振興事業	スポーツ推進課	原点に戻り、塩尻ぶどうの郷ロードレースの冠である「ぶどう」が提供できる開催日に実施し、参加者の増加を図る。			
	競技力向上事業	スポーツ推進課	塩尻市体育協会やスポーツ推進委員・普及員と連携し、市民が身近にスポーツを感じていただけるような市民体育祭やスポーツ教室等を実施していく。			
	体育施設整備事業	スポーツ推進課	経年劣化により維持・改修工事等が必要な施設について、施設維持計画に基づき優先順位を付け、効率的に修繕や改修工事を実施していく(弓道場安土改修、浸透枳設置、一般修繕)。			

# 市民交流センター・生涯学習部

## 事業部ミッション2

・自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や芸術文化に触れる機会を提供することで、市民個人の豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進します。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	7-2-1 生涯学習環境の充実	公民館の来館者数	228,120人 [2016]				230,000人
		図書館や公民館などの利用環境が整っていると感じる市民の割合	69.9% [2017]				70.0%
	全市戦略における位置付け	7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築		7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻市公民館事業計画の重点目標に掲げている「地域の実態を踏まえ、社会の要請がある「現代的な課題」について学ぶ学習テーマを中心に学級講座を充実させていく」ことについて現行行っている講座等への反映が不足している状況であるので、社会教育施設である公民館が生涯学習の拠点であるとともに、地域づくりの担い手育成に関わっていくことが求められている。</li> <li>・図書館本館・分館の課題解決型図書館としての機能をさらに高める必要がある。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館事業(各種教室、講座、講演会等)</li> <li>○図書館本館・分館の運営と機能強化</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	生涯学習支援事業	社会教育課	・生涯学習のための学習環境を整え「場」と「機会」を提供していく。				
	公民館事業	社会教育課	・各地区で様々な課題があるが、昨年実施した住民参加型の肩の凝らない「WS」の事例等を各地区館で共有し、「課題解決」のための手法を研究していく。				
	図書館事業諸経費	図書館	・図書館本館・分館における図書館サービスを充実させ、市民の学びや地域活動に役立つ質の高い情報提供を行う。				
	総合文化センター管理事業(施設改修分)	社会教育課	・経年劣化した中央棟の屋根防水、正面・北側アプローチ等の改修を行う。				
公民館分館施設整備事業	社会教育課	・申請のあった、上西条分館の改修工事について補助金を交付する。					
2	7-2-2 文化芸術活動の支援	芸術文化事業参加団体数	160団体 [2016]				175団体
		音楽や文化、芸術活動に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じる市民の割合	42.4% [2017]				43.0%
	全市戦略における位置付け	7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築		7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭等を開催する活動主体団体の高齢化が進んでおり、自主運営に支障が出ている。また、事業が前年踏襲になっており、来場者の減少も進んでいる。</li> </ul>					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化事業(6事業)の開催</li> <li>○芸術文化活動者支援</li> <li>○指定管理</li> <li>○冷温水器発生機・冷却塔更新工事・給配水衛生ポンプ・トップライト改修工事</li> </ul>					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	芸術文化事業	社会教育課	・芸術文化事業補助金を交付している「塩尻市芸術文化振興協会」と連携し、文化祭開催日の工夫(1~3日固定→金~日)や市芸術文化事業の内容について充実した内容となるよう実施していく。				
	文化会館運営事業	社会教育課	・来場者が快適に利用できるよう指定管理者による管理運営充実と、ニーズに応える事ができるよう芸術文化鑑賞事業を計画・実施していく。				
	文化会館改修事業	社会教育課	・運営事業と併せ、来場者が安心安全に利用いただけるよう計画的な施設及び設備の改修を実施していく。(冷温水発生機更新工事)				

# 市民交流センター・生涯学習部

## 事業部ミッション3

・市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、情報の集積拠点として、多様な人材が求める知識の習得を支援することにより、新たな知恵と価値が創出される場を提供します。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	10-2-1 市民活動の支援と人の交流の促進	まちづくりチャレンジ事業を実施し、自立運営している団体数	20団体	[2017]			30団体
		市民交流センター貸館利用率	79.5%	[2016]			80.0%
	全市戦略における位置付け		10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	目標とのギャップ・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と市民が対等なパートナーシップによって公共を担う協働のまちづくりを推進するため、社会課題や地域課題を解決する協働の担い手の更なる育成、支援が必要である。</li> <li>・市民交流センターの目的である知恵の交流を通じた人づくりの場の実現を目指すため、市民の様々な活動のための基盤や拠点を提供するとともに、市民同士の交流を促す事業展開が必要である。</li> <li>・開館8年目となり、機械設備の不具合等が発生しているため、計画的な維持管理が必要である。</li> </ul>				
	3年間の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>○講習会の開催、まちづくりチャレンジ事業の運営等による市民活動団体の育成、支援</li> <li>○新たな知恵の交流を生み出すため、市民交流センターの機能を活用し、人の交流を生み出す事業を展開</li> <li>○長期修繕計画に基づく建物全体の長寿命化の推進</li> </ul>				
	当年度事務事業		主管課	当年度事業内容			
	協働のまちづくり推進事業		交流支援課	・中間支援組織との連携による講演会、研修会、まちづくりフェスティバルの開催や、まちづくりチャレンジ事業実施団体への補助金交付、市民大学プラットフォームを生かした市民講座を開催する。			
	市民交流センター交流企画事業		交流支援課	・五つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」に注力し、機能融合による交流事業を展開するため、こどもおじり、えんぱーく科学館、IT講座などの交流事業を企画、運営する。			
	市民交流センター管理諸経費		交流支援課	・市民交流センターの長寿命化を図るための計画的な修繕として、空調機器整備（フロン排出規制法による点検、中高性能フィルター交換）、消防設備整備（蓄電池交換）、テラス防水塗装などを実施する。			
2	10-2-2 確かな情報による課題解決の応援	レファレンス受付件数	2,410件	[2016]			2,900件
		図書館の市民1人当たり貸出冊数	9.7冊	[2016]			10.0冊
	全市戦略における位置付け		10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	目標とのギャップ・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな情報の基盤となる資料の充実を図り、司書の専門性を高め情報提供能力を向上させ、課題解決型図書館としての機能をさらに高める必要がある。</li> <li>・確かで役に立つ情報に加えてデジタル情報の提供や地域資料のデジタルアーカイブ化などが求められている。</li> <li>・本館・分館の資料更新の必要性に加え、広丘図書館の開館により蔵書収容能力及び利用者の増加が見込まれており、資料収集を強化する必要がある。</li> <li>・重要な地域資料の一つである古田晁記念館所蔵資料の活用を進める必要がある。</li> </ul>				
	3年間の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決型図書館の基盤となる図書館資料の収集・提供及びデジタル資料の充実と活用</li> <li>○市民の生活、仕事、学習を支援する課題解決型図書館の運営</li> <li>○北部交流センター広丘図書館の開館と檜川分館の移転</li> <li>○古田晁記念館の運営と所蔵資料の活用</li> </ul>				
	当年度事務事業		主管課	当年度事業内容			
	図書館サービス基盤整備事業		図書館	・図書館サービスの基盤となる図書館資料の収集・活用を図るとともに、地域資料のデジタルアーカイブ化を含め、多様な資料提供ができるよう機能強化を進める。北部交流センター広丘図書館の開館及び檜川分館移転に向け資料収集を進める。			
	図書館事業諸経費		図書館	・図書館資料の充実と図書館員のレファレンス能力の向上により課題解決型図書館としての機能を高め、多様な企画による図書館サービスの提供により利用拡大を図る。北部交流センター広丘図書館の開館及び檜川分館移転に向けた計画を具体化し、準備を進める。			
	古田晁記念館諸経費		図書館	・古田晁記念館の運営と所蔵資料の活用に向けた取組を進める。			

No.	主な取り組み	指標	現状値			目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
10-2-2	確かな情報による課題解決の応援	本の寺子屋への参加者数(講演会聴講者)	1,239人 [2017]			1,000人
	全市戦略における位置付け	10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化する図書館として新たなサービスの展開により全国的な受賞を重ねて注目を集めるなどブランド力を高めていることをいかして、多様な市民ニーズに対応するサービス展開によりさらなる利用拡大が求められている。</li> <li>・子どもたちの読書活動をさらに推進する必要がある。</li> </ul>				
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「本の寺子屋」を中心とした企画事業の充実</li> <li>○「子ども本の寺子屋」「絵本プレゼント」などによる子どもの読書活動の推進</li> <li>○PTA親子文庫、市民読書活動グループとの連携と図書館ボランティア育成講座の開催</li> </ul>				
3	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	市民読書活動推進事業	図書館	・PTA親子文庫及び市民読書活動グループとの連携、学校巡回読書イベントの開催、絵本プレゼントなどにより、子どもの読書推進を図るとともに読書活動ボランティアの活躍の場を広げる。			
	本の寺子屋推進事業	図書館	・信州しおじり本の寺子屋・子ども本の寺子屋の開催によりブランド力を高め、本の魅力や読書の楽しみについて情報発信を強化し、図書館の利用拡大と読書活動の推進を図る。			

# 市民交流センター・生涯学習部

## 事業部ミッション4

・子どもたちが、個性や能力を発揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に取り組む様々な体験学習を、地域とともに推進します。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	2-1-3 体験型学習の推進	すべての児童・生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合	34.4%	[2017]			41.0%
	全市戦略における位置付け	2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上				
	目標とのギャップ・課題	・青少年健全育成を推進するため、子ども会育成会等への補助金をはじめ、補導委員の活動など、幅広い取組を実施している。また、平成29年度からは、地域で主体的に活躍できる子どもの育成を図るため、ジュニアリーダー養成事業を創設したことから、平成30年度には更なる事業展開を図る必要がある。また、青少年の補導件数もここ数年「0」であるので青少年補導センターのあり方、活動内容の見直しが必要である。					
	3年間の概要	○青少年補導センターの運営の見直し ○青少年健全育成事業補助金等の交付 ○姉妹都市ミシヤワカ派遣事業の実施					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	青少年育成事業	男女共同参画・若者サポート課	・青少年の健全育成を図るため、子ども会育成会等への補助金を交付し、地域における子どもたちの自主性や社会性の向上を図る。また、青少年補導センターの今後の運営について議論を深めていく。				
	青少年育成施設運営事業	社会教育課	・単に宿泊施設としてではなく、青少年の健全育成を目的として、体験・探求学習を通して「社会を生きぬく力」を身につけるため、柏茂会館及び塩嶺体験学習の家を活用する。				



# こども教育部 事務事業一覧

## 事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	地域の子育て環境の充実	①	にぎやか家庭応援事業(子育て支援分)	こども課	
		②	子ども・子育て会議運営事業	こども課	
		③	子育て支援センター事業	子育て支援センター	○
		④	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援センター	
		⑤	こども広場事業	子育て支援センター	
2	子育て世帯への経済的支援	①	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	○
3	家庭教育支援の推進	①	元気っ子応援事業	家庭支援課	
		②	家庭支援推進事業	家庭支援課	
		③	こどもの未来応援事業	家庭支援課	
4	保育環境の充実	①	保育所施設改善事業	教育総務課	
		②	保育所運営費	こども課	
		③	給食運営費	こども課	
		④	育児支援推進事業	こども課	
		⑤	民間保育所支援事業	こども課	
		⑥	保育補助員設置事業	こども課	
5	放課後児童の居場所確保	①	広丘児童館建設事業	教育総務課	
		②	児童館・児童クラブ運営費	こども課	
		③	放課後キッズクラブ運営費	こども課	

## 事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

1	時代の変化に対応した学力の向上	①	小学校英語活動サポート事業	教育総務課	○
		②	教育センター情報教育推進費	教育総務課	
		③	小中学校情報教育推進費	教育総務課	
		④	小中学校新学習指導要領対応事業	教育総務課	
2	健やかな成長の支援	①	給食運営事業事務諸経費	教育総務課	
		②	こどもの未来応援事業	家庭支援課	
3	体験型学習の推進	①	こども未来塾等運営事業	教育総務課	
4	地域と連携した教育体制の充実	①	小中学校特色ある教育活動事業	教育総務課	
		②	地域連携教育推進事業	教育総務課	○
5	教育のセーフティネットの充実	①	教育振興諸経費	教育総務課	
		②	教育相談研究事業	教育総務課	
		③	まなびサポート事業	家庭支援課	○
6	学校環境の充実	①	小中学校補助交付金	教育総務課	
		②	学校安全支援事業	教育総務課	
		③	小中学校プール改修事業	教育総務課	
		④	小中学校施設改善事業	教育総務課	
		⑤	小中学校大規模改修事業	教育総務課	
		⑥	小中学校増築事業	教育総務課	
7	教育の経済的負担の軽減	①	教育振興扶助費	教育総務課	
		②	高等学校等振興事業	教育総務課	
		③	奨学資金貸与事業特別会計繰出金	教育総務課	
		④	私立幼稚園支援補助金	教育総務課	
8	認知度向上や地域イメージの浸透(外部コミュニケーション)	①	学校給食レシピ公開事業	教育総務課	

## 事業部ミッション3

新体育館が、既存の商業・文化・スポーツ等の地域資源の核として、市民や来訪者の交流、スポーツを通じた市民の健康増進等を促すとともに、イベント等の誘致・開催による交流・集客の機会を創出する。

1	スポーツを通じた交流の促進	①	新体育館建設事業	新体育館建設プロジェクト	
---	---------------	---	----------	--------------	--

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		子育て支援センター事業				担当課		子育て支援センター					
目的	対象	子育て家庭及び地域住民						体系	1-1-2				
	意図	子育ての負担軽減と、子どもの育ちを促す地域子育て力を高める。						新/継	継続				
手段	施設の維持、管理運営と子育て支援に関わる講座、研修会の開催と子育てに関する情報提供、おでかけ支援センター等を実施						区分	ソフト					
							会計	一般					
年度別事業内容	2018年度				2019年度				2020年度				
	○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○イクメン手帳・孫育て手帳作成 ○北部子育て支援センター移転に伴うPR事業 ○北部子育て支援センタープレイルームの壁面作成				○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○北部子育て支援センター移転に伴うリーフレットのリニューアル ○北部交流センターオープン記念ワークショップ・記念講演会等の実施				○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○ワークショップの開催				
事業費・財源	予算額(A) (千円) 7,602				計画額(A) (千円) 予算対応				計画額(A) (千円) 予算対応				
	特定	0	一般	7,602	特定		一般		特定		一般		
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費	
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費	
合計	人件費合計(B) 0				人件費合計(B) 0				人件費合計(B) 0				
事業費合計	事業費合計(A)+(B) 7,602				事業費合計(A)+(B) #VALUE!				事業費合計(A)+(B) #VALUE!				

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
プレイルーム利用者数	15,211		30,300			30,800			31,000

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	②	3	4					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	現状維持	③	⑤		
総合評価判定				総合評価				総合評価				⑥				
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				B				B				⑦	皆減	縮小	現状維持	拡大
前年度の課題等に対する取組状況												健康づくり課の2か月相談等への同行、地域で行われる子育てサロンへの支援、おでかけ支援センター開催等を通して、支援センターのPRを行った。 北部子育て支援センター移転に伴うPR事業のワークショップ、施設のお別れ会、新施設の壁面作成の親子見学ツアー等を行い、施設の移転周知を図る。				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												プレイルームの利用者数は増加しているが、リピーターが多い。新規利用者拡大のため、様々な機会を通して支援センターを周知していく必要がある。また、支援センターの利用がしにくい保護者へは、出前支援等を通してプレイルームの利用につなげる必要がある。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												・北部支援センターの壁面作成委託料は減額となる(△972千円) ・北部子育て支援センターの移転に伴い、図書館と連携しながらオープン記念ワークショップおよび講演会を開催する(200千円) ・プレイルームの開館日数が増加するので、円滑な事業展開のために職員数の見直しが必要となる。				
第1次評価コメント												北部子育て支援センターの移転に伴い、従来からの利用者の継続と新規利用者の拡充に向け、十分な周知活動を行うこと。				
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)										
取組内容	えんぱーくと北部の2か所の子育て支援センターで、親子の遊びの場を提供と子育て相談を行うとともに、地域へ出向いてのプレイルーム等を開催した。また、子育て講座や研修会を開催し、母親同士の交流の場を提供した。										
成果	核家族化や共働きが進む中、親子がふれあえる場所を提供したり子育ての相談に応じることで、子育てへの不安や負担を軽減する事ができた。また、同年齢の子どもをもつ母親が集える機会を提供することで、母親同士の交流や情報交換が図られ、育児の孤立感の軽減につながった。										
課題	子育て支援センターを利用したことがない世帯への、事業周知を図る必要がある。 北部子育て支援センターの北部拠点施設への移転に伴い、新規利用者の増加と、現施設の利用者の継続利用にむけての事業が必要である。										
作成担当者	子ども教育 部	子育て支援センター課	係	職名	課長補佐	氏名	清水 美津	連絡先(内線)	5546		
最終評価者	子育て支援センター	所長	氏名	羽多野 紀子	21	担当係長		係長	氏名		

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)		担当課	こども課		
目的	対象	市内保育所等に通う3歳以上の児童の保護者			体系	1-1-3
	意図	経済的負担軽減による多子世帯支援とひとり親支援			新/継	継続
手段	第2子の保育料を50%、第3子以降の保育料を100%減免する。寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。				区分	ソフト
					会計	一般
年度別事業内容	2018年度		2019年度		2020年度	
	○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付		○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付		○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付	
事業費・財源	予算額(A)	(千円)	96,601	計画額(A)	(千円)	予算対応
	にぎやか家庭保育料等補助金		8,985			
	保育料減免分		87,216			
	寡婦(夫)控除のみなし適用分		400			
	特定	6,120	一般	90,481	特定	一般
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	
合計	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		96,601	事業費合計(A)+(B)		#VALUE!

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
多子世帯の保育料減免延べ人数	3,001		6,500			3,250			0
寡婦(夫)控除のみなし適用延べ人数	0		5			5			5

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性				
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4		④	②	①	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い					
総合評価判定				総合評価				B					皆減	縮小	現状維持	拡大
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
前年度の課題等に対する取組状況		平成31年10月からの幼児教育の段階的無償化の取り組みについて、7月には、保育料減免の一定の方向性は示されたものの、減免の取り扱いの詳細については不透明な状況である。また、寡婦のみなし適用についても、国の制度として保育料などの制度が9月1日に施行され、該当する例規改正を実施した。														
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		平成31年10月からの国の制度に基づく保育料の無償化については、現段階では不透明な部分があるため、今後、国の動向を注視し、本市としての保育料減免制度を見極めていくとともに、来年度に向けた周知方法等も検討する必要がある。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		平成31年10月から、国の制度に基づく保育料の無償化の拡充が予定されているため、3歳以上児は100%減免となることから、現行の塩尻市独自の保育料減免を上回る制度となるが、塩尻市独自の保育料減免制度として、3歳未満児の第2子10%、第3子以降20%減免を行っているため、その取扱いの継続、見直し等について検討する必要がある。														
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	市内に在住の保育所、認定こども園を利用する3歳以上の児童を擁する保護者に対し、第二子50%、第三子以降100%の保育料減免を行った。同様に、幼稚園、認可外保育施設を利用する児童を擁する保護者に対し、第二子50%、第三子以降100%の保育料減免に相当する補助を行った。
成果	保育所等を利用する多子世帯に対し、95,664千円分の経済的負担の軽減を図ることができた。
課題	平成31年10月から、国の制度に基づく保育料の無償化の拡充が予定されており、保育料の減免を行う必要性がなくなることも想定される。保育料減免に代わる多子世帯への支援の必要性の検討が必要である。

作成担当者	こども教育 部	こども 課	こども応援係 係	職名	主事	氏名	保科 拓人	連絡先(内線)	3171
最終評価者	こども 課長	氏名	青木 正典	担当係長	こども応援 係長	氏名	紅林 良一		

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		小学校英語活動サポート事業				担当課		教育総務課								
目的	対象	小学生				体系		2-1-1								
	意図	確かな学力やグローバルな感覚を育成する。				新/継		継続								
手段	国際理解講師、ALT、英語教育担当指導主事による分かりやすい英語教育と国際理解教育の実施				区分		ソフト									
					会計		一般									
年度別 事業内容	2018年度				2019年度				2020年度							
	○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置				○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置				○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置							
事業費 ・財源	予算額(A)		(千円) 5,310		計画額(A)		(千円) 予算対応		計画額(A)		(千円) 予算対応					
	特定	0	一般	5,310	特定		一般		特定		一般					
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費				
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費				
合計	人件費合計(B)				0				人件費合計(B)				0			
事業費合計	事業費合計(A)+(B)				5,310				事業費合計(A)+(B)				#VALUE!			

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
国際理解講師の配置人数	5		5			5			5
小学校5・6年生の授業時数(年間)	25		55			70			70

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性			有効性			効率性						成果の 方向性	④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	縮小	⑥			
総合評価判定			総合評価									休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討			B									コスト投入の方向性				
前年度の課題等に対する取組状況			市内小学校5校で、英語教育担当指導主事が各校を回り、今後の英語教育の方向性・担任教諭と国際理解講師、ALT、英語専科教員(県配置)との役割分担などを確認する研修会を実施することができた。 未実施の学校についても、後期に実施する予定。													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等			2020年度からの小学校英語の教科化及び2019年度に行う先行実施に対応するため、英語教育担当指導主事を核として、教職員の指導力強化や小中学校の連携などについて、具体的な取り組みを進めていく必要がある。 また、担任教諭主導の授業展開に移行するために、国際理解講師やALTとの連携が更に重要となる。													
新年度の予算要求事項(改革・改善案)			先行実施に対する環境整備として、指導書・教材・備品の新規購入が必要となる可能性がある。 引き続き、研修や講演会を通じて、教職員、国際理解講師、ALTの指導力向上に努める。													
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)															
取組内容	国際理解教育講師を5人配置し、担任教諭とのチームティーチングによる英語の授業を行った。 平成32年度からの小学校英語の教科化・早期化及び2018年度からの移行措置に対応するため、英語教育担当指導主事を中核として、指定校における授業研究や研修、教材研究を行うなど、教員の指導力向上や小中学校の連携強化に向けて、具体的な取組みを進めた。															
成果	英語教育担当指導主事による授業支援や、英語教育研究協議会との授業研究などの連携により、担任主導の授業展開への理解や不安解消、教員の英語指導力の向上につながった。また、2018年度からの移行措置に対応する授業時数の確保について、各小学校における具体的な方針決定につながった。															
課題	国際理解講師、ALT、英語専科教員(県配置)と担任の関わり方や役割分担を再確認し、市内小学校の英語教育の進め方を明確にしていける必要がある。															
作成担当者	子ども教育 部	教育総務 課	学校支援 係	職名	事務員	氏名	山田 愛	連絡先(内線)	3113							
最終評価者	教育総務 課長	氏名	大田 文和	担当係長	学校支援 係長	氏名	武井 充									

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		地域連携教育推進事業				担当課		教育総務課				
目的	対象	児童生徒、保護者、地域、学校						体系	2-1-4			
	意図	地域と連携した学習意欲の向上及び社会的・職業的に自立した人材の育成、児童生徒の知力、体力、創造力、創造力などの向上を図る。						新/継	継続			
手段	地域連携コーディネーター及び学校支援コーディネーターの配置、コミュニティスクール関連の研修、児童生徒のキャリア教育推進、学校支援ボランティアによる支援の充実、地域における教育振興の推進						区分	ソフト				
							会計	一般				
年度別事業内容	2018年度				2019年度				2020年度			
	○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援体制確立に向けた調査・研究 ○檜川地区の教育振興調査研究				○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援 ○檜川地区の教育振興調査研究				○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援 ○檜川地区の教育振興調査研究			
事業費・財源	予算額(A)		(千円)		11,601		計画額(A)		(千円)		予算対応	
	特定	3,337	一般	8,264	特定		一般		特定		一般	
人件費	正規職員	業務量	0.20	人	人件費	1,200	業務量		人件費		業務量	
	嘱託員	業務量	1.00	人	人件費	3,000	業務量		人件費		業務量	
合計	人件費合計(B)		4,200		人件費合計(B)		0		人件費合計(B)		0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		15,801		事業費合計(A)+(B)		#VALUE!		事業費合計(A)+(B)		#VALUE!	

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
地域と連携した事業の実施数	-		126			130			135

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
①	2	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	縮小	⑥				
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				C									皆減	縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性					
前年度の課題等に対する取組状況	小中学校の夏季休業期間に、公民館と連携した取り組みを行うところも出てきた。各校の取り組みを発表するなど、実践発表会を実施した。																
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等	学校支援コーディネーターの担い手を確保する必要がある。(再任用職員の配置等について検討したい。)キャリア教育支援体制の構築が必要となっている。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	現状のコミュニティ・スクール推進体制を維持し、新たに、「キャリア教育支援センター(仮称)」を設置する必要がある。																
第1次評価コメント																	
第2次評価コメント																	

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	教育総務課に地域連携コーディネーターを、中学校区に1名ずつ学校支援コーディネーターを配置し、学校支援コーディネーターによる定例会議を毎月開催した。また、キャリア教育支援協議会及びキャリア教育委員会を開催した。年度末に、コミュニティ・スクール実践集としてまとめた冊子を作成した。学校支援ボランティアを対象とした研修会を年5回開催した。
成果	学校評議員制度の時とは違い、「地域の子ども」を柱に据え、地域と学校が一緒になって地域の子どもを育てるという意識が高まり、学校への関わりについて「当事者意識」が高まった。また、放課後学習支援など、地域の教育力の活用が進むとともに、中学校において、学校が地域に貢献する活動が活発になってきた。
課題	各学校にコミュニティ・スクールルームの設置等の環境整備が必要である。公民館等との連携を強化し、コミュニティ・スクールを核とした横のつながりを構築するとともに、市民の関心をより高めていくために、広報のあり方を検討する必要がある。

作成担当者	子ども教育 部 教育総務 課 教育企画 係	職名	係長	氏名	横山 朝征	連絡先(内線)	3111
最終評価者	課長	氏名	担当係長	教育企画 係長	氏名	横山 朝征	

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	まなびサポート事業		担当課	家庭支援課					
目的	対象	特別な支援が必要な児童生徒及び教職員			体系	2-2-1			
	意図	一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習環境の提供			新/継	継続			
手段	通常の指導では十分な教育的効果が期待できない児童生徒に、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。				区分	ソフト			
					会計	一般			
年度別事業内容	2018年度		2019年度		2020年度				
	○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の導入		○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の実施		○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の実施				
事業費・財源	予算額(A)	(千円) 25,405	計画額(A)	(千円) 予算対応	計画額(A)	(千円) 予算対応			
	教育支援委員会報酬	268	支援介助員賃金	24,571	講師謝礼	150			
	旅費	259	その他	157					
	特定	0	一般	25,405	特定	一般			
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0
合計	人件費合計(B)		0		人件費合計(B)		0		
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		25,405		事業費合計(A)+(B)		#VALUE!		

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
教職員研修の実施回数	3		4			4			4
巡回相談実施回数	1		3			6			9

○事中評価

評価視点												今後の方向性			
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④	②	①
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	現状維持	③	⑤	
総合評価判定				総合評価				B				縮小	⑥		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												休廃止	⑦		
前年度の課題等に対する取組状況				教職員研修は学校のニーズに応じた研修内容を提供している。巡回相談の実施の仕方を変更したが、その後の支援状況や効果を特別支援教育指導主事の訪問やフォローアップ訪問等で把握していく必要がある。								皆減	縮小	現状維持	拡大
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				今年度から副学籍制度の導入にあたり、コーディネーター・教頭研修にて副学籍について研修、特別支援学校と小中学校の橋渡しをした。特に来年度入学予定児童は、入学前から副学籍について丁寧な説明と連携を行うため、段取りを明確にする必要がある。								コスト投入の方向性			
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				小栗先生の巡回相談(年3回)は学校の課題を把握した上で実施校を検討し継続し効果を検証する。小学校や他の中学校には、学校の課題や支援内容に合わせてサポートマネージャーや特別支援学校の教育相談等の支援者を活用し、校内支援の強化を図ることが必要である。											
第1次評価コメント															
第2次評価コメント															

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)														
取組内容	特別支援講師(嘱託員)12人、支援介助員(臨時職員)23人を小中学校に配置し、研修(特別支援講師6回、支援介助員2回)を実施した。教職員を対象にした特別支援教育研修会(年2回開催、教職員212名参加)、コーディネーター・教頭研修(1回)を実施し、コーディネーターの資質を高めるため3回の連絡会の内1回を自主研修とした。個別の指導計画策定に関わる研修会は中学校3校にて実施した。また、特別支援教育担当指導主事の学校訪問を随時行った。														
成果	特別支援教育指導主事を中心に、ケースに応じた助言、支援会議等への参加、地域の支援者へ協力を要請するなど、校内体制や連携の強化を図り、特別な支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに対応した支援の充実が図られた。														
課題	支援を必要とする児童生徒は増加・多様化しており、引き続き研修等で理解を深め、校内の支援体制の充実、強化が必要である。個別の指導計画策定に関わる研修は、30年度で全中学校で終了するため、今後の方向を検討する必要がある。														
作成担当者	子ども教育 部	家庭支援 課	家庭支援 係	職名	技師	氏名	高山 ゆり	連絡先(内線)	3181						
最終評価者	家庭支援 課長	氏名	百瀬 公章	担当係長	家庭支援 係長	氏名	藤森 あづさ								

# 市民交流センター・生涯学習部 事務事業一覧

## 事業部ミッション1

・芸術、文化、スポーツ等の地域資源を生かして、市民や来訪者の交流を促す場を整備するとともに、イベント等の誘致・開催による交流・集客の機会を創出します。  
 ・集客核となる歴史的町並みを世代を越えた財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存します。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	歴史的資源の保存と活用	①	重伝建整備事業	社会教育課	○
		②	国指定文化財修理事業	社会教育課	
2	文化資源を活用した交流活動の促進(短歌フォーラムの実施)	①	全国短歌フォーラム事業	社会教育課	
3	文化資源を活用した交流活動の促進(文化施設の運営・歴史遺産の活用)	①	檜川文化施設運営事業	社会教育課	
		②	短歌館運営事業	社会教育課	
		③	自然博物館運営事業	社会教育課	
		④	平出博物館運営事業	社会教育課	
		⑤	平出遺跡公園事業	社会教育課	
		⑥	ひらいでの里魅力づくり事業	社会教育課	
		⑦	埋蔵文化財事業	社会教育課	
		⑧	本洗馬歴史の里運営事業	社会教育課	
4	スポーツを通じた交流の促進	①	市民スポーツ振興事業	スポーツ推進課	
		②	競技力向上事業	スポーツ推進課	
		③	体育施設整備事業	スポーツ推進課	

## 事業部ミッション2

・自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や芸術文化に触れる機会を提供することで、市民個人の豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進します。

1	生涯学習環境の整備	①	生涯学習支援事業	社会教育課	○
		②	公民館事業	社会教育課	
		③	図書館事業諸経費	図書館	
		④	総合文化センター管理事業(施設改修分)	社会教育課	
		⑤	公民館分館施設整備事業	社会教育課	
2	文化芸術活動の支援	①	芸術文化事業	社会教育課	
		②	文化会館運営事業	社会教育課	
		③	文化会館改修事業	社会教育課	

## 事業部ミッション3

・市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、情報の集積拠点として、多様な人材が求める知識の習得を支援することにより、新たな知恵と価値が創出される場を提供します。

1	市民活動の支援と人の交流の促進	①	協働のまちづくり推進事業	交流支援課	○
		②	市民交流センター交流企画事業	交流支援課	
		③	市民交流センター管理諸経費	交流支援課	
2	確かな情報による課題解決の応援	①	図書館サービス基盤整備事業	図書館	○
		②	図書館事業諸経費	図書館	
		③	古田晁記念館諸経費	図書館	
		④	市民読書活動推進事業	図書館	
		⑤	本の寺子屋推進事業	図書館	

## 事業部ミッション4

・子どもたちが、個性や能力を発揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に取り組む様々な体験学習を、地域とともに推進します。

1	体験型学習の推進	①	青少年育成事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	青少年育成施設運営事業	社会教育課	

## 事業部ミッション5

・男女がともに創る「子育てしやすくなるまち」に向けて住みやすい環境を整えます。  
 ・子育て世代や若者、学生に対して、誰でもがいきいきと暮らせる持続可能な地域社会の実現のため、悩みや課題の解決に向けた相談体制を整えます。

1	移住・定住希望者へのプロモーション(結婚支援)	①	男女共同参画事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	ふれあいプラザ運営事業	男女共同参画・若者サポート課	
2	若者の社会復帰への応援	①	若者サポート事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	社会人権教育推進事業	男女共同参画・若者サポート課	
		③	人権推進啓発事業	男女共同参画・若者サポート課	

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	重伝建整備事業		担当課	社会教育課					
目的	対象:	重伝建地区内で建築物等の工事を行う者			体系	4-1-2			
	意図:	歴史的な町並みの保存と整備を行う。			新/継	継続			
手段:	設計監理及び工事費の補助				区分	ハード			
					会計	一般			
年度別事業内容	2018年度		2019年度		2020年度				
	○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景		○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景		○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景				
事業費・財源	予算額(A)	(千円)	13,160	計画額(A)	(千円)	17,500			
	設計監理費		13,025			25,000			
	工事費		2,452						
	事務費		119						
	特定	12,456	一般	569	特定	0			
				一般	0	一般	0		
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0
合計	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		13,160	事業費合計(A)+(B)		17,500	事業費合計(A)+(B)		25,000

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
修理修景物件数	4		4			6			7

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	3	④		現状維持		③		⑤	④
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性						
前年度の課題等に対する取組状況		年2回、町並み相談会を開催して、地域住民の相談を受けるとともに制度の説明をおこなっている。また、地区内にチラシの配布を定期的におこない、保存地区の範囲、制度の内容等の周知活動を実施している。																
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		地元住民で組織されている「町並み保存会」が世代交代もあり、人が代わるにことにより組織の弱体化が散見される。文化財修理には特殊な技法や手間が掛かるため、費用が嵩む場合もあり、事業を行いたくても断念してしまう方もいる。町並み保存に協力していただける住民の意思に応えられるよう、補助率の引き上げが検討すべきと感じる。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		町並みの保存・維持には持続的な活動が必要のため、住民への制度理解の周知を継続するとともに、協力していただける住民の要望に応えられるよう、修理修景物件数の維持もしくは拡大が必要。																
第1次評価コメント																		
第2次評価コメント																		

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	・奈良井、木曾平沢の両伝建地区において、修理・修景事業計8件を実施した。(奈良井では修理1件、修景2件、木曾平沢では修理3件、修景2件) ・平成30年度及び31年度に向けての修理・修景事業の実施希望の取りまとめを行い、30年度については文化庁に補助事業の申請を行った。
成果	・建造物の保存が図られるとともに、歴史的町並みの景観が整備できた。 ・建造物所有者の歴史的町並みへの保存意識が向上し、地域づくりの核となるとともに、観光振興に寄与することができた。 ・修理・修景事業は、国庫補助による事業で個人負担も相応にありますが、住民主体の保存活動として費用対効果は高いものになっている。
課題	・重伝建地区選定から年数が経過するにつれ、地区内住民の高齢化や世代交代等の理由により、伝建制度への理解が希薄になってきているため、同制度についての継続的な周知が課題となっている。

作成担当者	市民交流センター・生涯学習 部	社会教育 課	文化財 係	職名	技師	氏名	南澤 強	連絡先(内線)	3134
最終評価者	社会教育課	課長	氏名	胡桃 慶三	担当係長	社会教育課文化財係	係長	氏名	塩原 真樹

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		公民館事業		担当課		社会教育課			
目的	対象	市民全体				体系	7-2-1		
	意図	市民の自主的な生涯学習を促進するとともに、地域コミュニティの醸成を推進する。				新/継	継続		
手段	中央公民館の運営と地区公民館における各種教室、講座、講演会等の運営の支援				区分	ソフト			
					会計	一般			
年度別事業内容	2018年度			2019年度			2020年度		
	○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬			○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬			○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬		
事業費・財源	予算額(A) (千円)		39,699	計画額(A) (千円) 予算対応		計画額(A) (千円) 予算対応			
	非常勤職員報酬		20,000						
臨時職員賃金		1,200							
講師謝礼・費用弁償		2,000							
委託料		15,200							
その他		1,299							
特定		730	一般	38,969	特定	一般			
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	
合計	人件費合計(B)			0	人件費合計(B)			0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)			39,699	事業費合計(A)+(B)			#VALUE!	

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
中央・地区公民館講座等事業参加者数	10,414		15,000						

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④	②	①	
1	2	3	④	1	2	③	4	1	②	3	4					現状維持
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				B				休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
前年度の課題等に対する取組状況				今後の社会の変化を考察する中で、地域住民の拠点・つながりの場としての公民館は今まで以上に重要となる。そのため主事が地域の学びや地域課題解決のオーガナイザーとしての働きかけが大切となるため、主事としての資質を磨くための勉強会を今年度2回実施している。今後主事として、地域住民を盛り立てよう向上心を持って高めあう必要がある。												
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				公民館の理念である「つどい」「まなぶ」「むすぶ」ことを念頭においた各地区公民館の事業展開を行っている。また前年度以上に各館長・主事内にて地域への取組みや地域住民同士を「つなぐ」ことの重要性を共有するよう心がけている。しかし地域づくりが住民にとって未だ「他人事」意識が拭えないでいる。今後更に多くの住民を巻き込んだ「学びの場」づくりが重要である。												
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				公民館事業の予算は、地区公民館事業委託料と学級講座の講師謝礼が主なものになるが、公民館の運営コスト削減と事業の精査を継続して行いながら、地域課題解決の手法等について学び、地域コミュニティが活発になるための事業を増やしていくため現状維持としたい。												
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	定期的に公民館長・主事会議を開催し、地区における公民館事業の取組について情報交換及び意見交換を行った。 長野県公民館運営協議会が主体となり、毎年開催している「長野県公民館大会」が塩尻市で開催され、分館役員含む公民館役員の研修、情報交換の場となった。 中央公民館では、9講座を実施し延べ1,225人が受講し、地区公民館では、280事業・講座を実施し延べ25,937人が参加・受講した。
成果	公民館事業を通じて、市民の教養の向上、健康の増進等を図り、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与できた。 地区公民館では、地域課題の把握や意志共有を目的とした事業をいくつか開催し、地域づくりの取組みをスタートすることができた。 吉田公民館が、文科省が表彰する優良公民館に選出された。塩尻市では、平成10年度に表彰された中央公民館以来2度目の受賞。
課題	新しい時代にふさわしい公民館のあり方として、従来から行っている趣味や教養に関する学級・講座だけでなく、生活課題や地域課題に即した学習活動に更に取り組んでいく事が求められている。 地域コミュニティ活性化のため、公民館主事が地域の先頭に立って、地域づくりの担い手育成に関わっていく事が必要となっている。

作成担当者	市民交流センター・生涯学習 部 中央公民館 課	係	職名	主任	氏名	安藤 寿秀	連絡先(内線)	3141
最終評価者	社会教育課	課長	氏名	胡桃 慶三	担当係長		係長	氏名

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		市民交流センター交流企画事業				担当課	交流支援課						
目的	対象	市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者						体系	10-2-1				
	意図	新しい人々や多くの人々が絶えず集い行き交う場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。						新/継	継続				
手段	市民交流センター貸館など、人の集まる場を提供し、5つの重点分野と各分野の機能融合を目指した企画事業を開催する。						区分	ソフト					
							会計	一般					
年度別事業内容	2018年度				2019年度				2020年度				
	○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施				○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施				○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施				
事業費・財源	予算額(A) (千円)		15,896		計画額(A) (千円)		予算対応		計画額(A) (千円)		予算対応		
	講師謝礼		1,155		費用弁償		252		IT講座運営事業等委託料		2,500		
		市民営提案事業委託料(交流企画)		1,274		その他		10,715					
		特定	483	一般	15,413	特定		一般		特定		一般	
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費	
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		業務量		人件費	
合計		人件費合計(B)			0			人件費合計(B)			0		
事業費合計		事業費合計(A)+(B)			15,896			事業費合計(A)+(B)			#VALUE!		

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
貸館利用者数(人)(8月末現在)	30,798		70,000			70,000			70,000
講座・イベント等参加満足度(%) (8月末現在)	98		70			70			70

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↓
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A				休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
前年度の課題等に対する取組状況		交流企画事業については、新規事業として、SNSを活用した地域の魅力発信講座を計画し、そこから新たな活動が生まれることを期待している。センターの適正利用の周知、啓発については、発生した事例について、課内で情報共有と改善点の検討を行うなど、さらに利用しやすい施設を目指し、継続的に取り組んでいる。														
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		臨時職員を含む職員の入れ替わりが激しく、窓口におけるサービスレベルの維持に支障をきたす恐れがある。また、シフトの関係上、突発的なトラブルの発生時に対応できる人員が不足するなど、人材面での不安要素が強い。施設利用者からの要望も多種多様に変化しているため、施設の安全面や衛生面を配慮し、対応を検討する必要がある。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		市民営提案事業から生まれた「こどもしおじり」については、独自性が高い評価を得ているため、引き続き委託事業として実施する。交流企画事業については、これまでの経験が蓄積されているため、どの事業も参加者の満足度が高く、引き続き実施していくとともに、新たな企画を積極的に展開していきたい。														
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	施設の機能を活用したパソコン基礎講座を35講座、市民交流センターの五つの重点分野を融合した事業を22事業38回開催した。また、窓口業務においては、丁寧な窓口対応を心掛け、活動基盤提供事業(貸館受付)や各種証明書の交付を行った。
成果	パソコン基礎講座のほか、市民営提案事業や各種講座などの幅広い事業展開により、イベント参加者は延べ14,300人に上った。市民交流センターを市民の様々な活動の場として提供した結果、貸館利用者は83,318人、貸館使用率平均は80.0%となった。
課題	参加者の交流が活発に行われ、新たな活動につながるような講座を継続して企画し開催する必要がある。また、センターの適正な利用方法の周知に努めることで、さらに利用しやすい施設を目指すとともに、より満足度の高い窓口対応を志し、ホスピタリティ向上のための継続的な取り組みが必要である。
作成担当者	市民交流センター生涯学習部 交流支援課 課 企画運営 係 職名 主事 氏名 山端 慧斗 連絡先(内線) 4210
最終評価者	交流支援課 課長 氏名 山崎 浩明 担当係長 企画運営係 係長 氏名 宮原 孝明

2018年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	本の寺子屋推進事業			担当課	図書館					
目的	対象	市民全体			体系	10-2-2				
	意図	本に関わる人や企業をつなぎ、生涯読書を進める。			新/継	継続				
手段	「本の寺子屋」を中心とした講演会やワークショップ、企画展の実施				区分	ソフト				
					会計	一般				
年度別事業内容	2018年度			2019年度			2020年度			
	○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催			○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催			○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催			
事業費・財源	予算額(A)	(千円)	2,495	計画額(A)	(千円)	予算対応	計画額(A)	(千円)	予算対応	
	講師謝礼		1,026							
	旅費		504							
	印刷製本費		416							
	その他		549							
	特定	1	一般	2,494	特定		一般			
人件費	正規職員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		
	嘱託員	業務量	人	人件費	0	業務量		人件費		
合計	人件費合計(B)			0	人件費合計(B)			0	人件費合計(B)	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)			2,495	事業費合計(A)+(B)			#VALUE!	事業費合計(A)+(B)	

○評価指標

評価指標	2018年度			2019年度			2020年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
講座開催数(回)	11		12			12			12
参加満足度(%)	85		80			80			80

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性			有効性				効率性					成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	④
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	縮小	⑥			
総合評価判定			総合評価									休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討			A									コスト投入の方向性				
前年度の課題等に対する取組状況			来年度の寺子屋の実施に向けて、魅力的な企画となるよう新しい人脈形成に努めている。													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等			9月末までに11回の講座・講演会を開催し、参加者数は638人であった。昨年度同時期の792人に比べ参加者数が減少した(一昨年度は454人)。各回の参加者数は減少しているものの、事業で目指している活字文化・出版文化の振興に向けて、テーマに沿った内容の講演会が重ねられており、参加者の満足度は高い。後半には「地域文化サロン」2回の開催を予定しており、市民の参加が期待できる。また、「本の寺子屋」の活動が図書館のブランドとして県内外の図書館から認知されつつある。山梨県甲斐市や神奈川県立図書館で「本の寺子屋」事業を開始する動きがあり、広がりが期待できる。													
新年度の予算要求事項(改革・改善案)			引き続き図書館の重点事業として位置付け、更に充実した事業展開を図っていききたい。図書館には全ての分野を横断する多様な情報が存在することをさらに生かしながら、様々な分野に注目し紹介することで、市民読書の推進を図りたい。													
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成29年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)
取組内容	作家、出版社、書店等と連携して本の可能性を考え、地域の読書環境の充実を図る講演会・講座を16回、企画展を6回開催した。地域文化に着目した講座「地域文化サロン」をスタートしたほか、博物館と連携した企画展など、互いの館の利用を促進する効果も狙った取組も実施した。
成果	本の寺子屋への参加人数は1,337人で過去最高となった。地域文化サロンが好評だったことや、映画館「東座」をはじめ、地元店舗とのタイアップ企画など地域を巻き込んだ企画ができたことが主な要因と思われる。郷土の魅力を再確認する機会が増え、地域資料の活用にもつながった。講座の開催で、職員のスキルアップや図書館運営に対する市民の理解を深めることができた。
課題	魅力ある講座を開催するために、作家・出版社・書店をはじめ、博物館や地域の企業なども含め、多くの人や企業との人脈・ネットワーク形成が不可欠である。引き続き強化をはかり、幅広い分野の講座を開催するように努める。

作成担当者	市民交流センター・生涯学習 部	図書館	課	係	職名	主任	氏名	中澤 友義	連絡先(内線)	4243
最終評価者	図書館	課長	氏名	上條 史生	30	担当係長	図書館	係長	氏名	宇治橋 多恵

塩尻市教育振興基本計画成果指標

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	近年の 傾向	H27	H28	H29	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期
【知】 確かな知識とそ れを活用する知 恵の育成	1 知識となる基礎学 力の定着や技能 の習得	授業以外(月～金)の1日当たりの学習時間が小学 生1時間以上、中学生2時間以上の児童・生徒の割 合(小6…1時間以上、中3…2時間以上)	小6	64.0%	H26	↗	67.3%	64.5%	70.4%	県 61.3% 国 64.4%	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	62.1%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	29.1%	H26	↘	34.5%	27.1%	32.8%	県 31.5% 国 35.4%	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	35.2%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 一人ひとりの豊か な心の育成	国語の授業の内容が分かる児童・生徒の割合	小6	85.4%	H26	↗	79.8%	85.2%	83.8%	県 83.8% 国 82.2%	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	80.1%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	77.2%	H26	↗	75.1%	72.6%	82.3%	県 77.7% 国 74.9%	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	72.0%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 社会や地域に親し む心の育成	算数・数学の授業の内容が分かる児童・生徒 の割合	小6	86.4%	H26	→	84.9%	87.8%	84.3%	県 80.1% 国 80.6%	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	79.6%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	70.4%	H26	↗	70.9%	68.0%	70.3%	県 72.0% 国 69.4%	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	71.5%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 社会や地域に親し む心の育成	「総合的な学習の時間」に主体的に取り組む児 童・生徒の割合	小6	60.6%	H26	↗	62.3%	63.2%	71.7%	県 65.5% 国 69.8%	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	63.8%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	46.0%	H26	↗	49.5%	48.0%	61.5%	県 59.8% 国 64.3%	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	54.8%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 一人ひとりの豊か な心の育成	将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合	小6	88.2%	H26	↗	86.8%	86.6%	87.8%	県 85.9% 国 85.9%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	86.7%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	75.0%	H26	→	73.7%	69.3%	71.4%	県 72.0% 国 70.5%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	71.4%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 社会や地域に親し む心の育成	人の役に立つ人間になりたいと思う児童・生徒 の割合	小6	95.0%	H26	↘	93.1%	95.3%	93.6%	県 92.1% 国 92.5%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.0%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	95.0%	H26	↘	95.7%	93.3%	93.7%	県 92.6% 国 91.9%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.0%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 社会や地域に親し む心の育成	地域行事の参加割合	小6	91.6%	H26	↘	90.2%	91.0%	90.1%	県 87.8% 国 82.6%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	89.9%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	68.1%	H26	↘	71.7%	70.4%	74.9%	県 63.2% 国 42.1%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	63.7%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	学校の規則を守っている児童・生徒の割合	小6	94.2%	H26	↗	91.4%	93.6%	94.9%	県 92.9% 国 92.4%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	90.5%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	93.2%	H26	→	95.9%	97.4%	95.6%	県 95.8% 国 95.2%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	93.0%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・ 生徒の割合)	小6	94.4%	H26	→	93.1%	94.1%	92.5%	県 92.9% 国 91.2%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	92.9%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	95.0%	H26	→	90.9%	92.8%	94.5%	県 93.3% 国 92.4%	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	93.2%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	規則正しい生活状況(同じ時刻に寝ている児 童・生徒の割合)	小6	86.5%	H26	→	83.9%	86.3%	84.5%	県 83.3% 国 79.8%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	82.4%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	79.6%	H26	↗	75.5%	74.5%	80.0%	県 77.8% 国 75.6%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	74.8%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	授業以外(月～金)の1日当たりの読書時間が 30分以上の児童・生徒の割合	小6	44.5%	H26	→	42.4%	36.9%	38.5%	県 37.3% 国 36.5%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	38.2%	全国学力・学習状況 調査	1年
			中3	38.7%	H26	↗	38.0%	31.5%	40.9%	県 32.8% 国 29.2%	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	31.4%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	一人あたりの年間読書冊数(学校図書館)	小学校 中学校	77.8冊 19.2冊	H25 H25	-	77.9冊 22.3冊	77.4冊 22.0冊	77.9冊 25.4冊	前年 前年	↗	前年度よりも多い冊数を目標とする。		市教委調査	1年
			小6	98.3%	H26	→	98.3%	97.5%	97.0%	県 96.7% 国 95.4%	↗	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	96.0%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 正しい食習慣の定 着	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合	中3	95.1%	H26	→	95.4%	95.7%	96.0%	県 94.9% 国 93.2%	↗	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	93.5%	全国学力・学習状況 調査	1年
			小学生 中学生	55.7% 46.1%	H26 H26	-	56.3% 45.3%	53.4% 43.3%	55.0% 48.1%	前年 前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。			
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 正しい食習慣の定 着	大人と朝食をとる児童の割合	小5男	55.42点	H25	→	54.91点	53.20点	56.35点	県 54.69点 国 54.16点	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	53.87点	全国学力・学習状況 調査	1年
			小5女	54.40点	H25	↗	57.00点	53.89点	57.49点	県 55.69点 国 55.72点	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.70点		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 正しい食習慣の定 着	体力の合計点	中2男	44.99点	H25	→	44.62点	43.82点	43.57点	県 42.35点 国 42.11点	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.78点	市教委調査	1年
			中2女	47.73点	H25	↗	47.92点	51.57点	50.18点	県 49.04点 国 49.97点	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	48.42点		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 正しい食習慣の定 着	運動が好きと思っている児童・生徒の割合 【上記の代わりの指標】	小5男	72.0%	H25	↘	H26 72.2%	74.0%	70.5%	県 73.3% 国 73.2%	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	69.9%	全国学力・運動能 力、運動習慣調査	1年
			小5女	49.4%	H25	↘	H26 53.5%	47.8%	55.0%	県 56.3% 国 56.4%	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	50.3%		
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	2 正しい食習慣の定 着	運動が好きと思っている児童・生徒の割合 【上記の代わりの指標】	中2男	60.4%	H25	→	H26 70.4%	61.1%	64.0%	県 67.6% 国 63.4%	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	58.7%	全国学力・運動能 力、運動習慣調査	1年
			中2女	37.9%	H25	↗	47.0%	44.6%	41.5%	県 46.3% 国 47.1%	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.1%		

社会を生き抜く力の養成

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	近年の 傾向	H27	H28	H29	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期		
4 きめ細かな支援 による教育の平 等な提供	1 一人ひとりに対す るきめ細かな指導 の推進	学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 自分には良いところがあると思う児童・生徒の 割合 市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を 受けた子どもの割合	小6	87.1%	H26	→	86.3%	88.8%	88.1%	県 86.1% 国 86.3%	↗	前年度よりも高割合を目指し、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	86.6%	全国学力・学習状況 調査	1年		
			中3	80.1%	H26	↗	80.7%	82.3%	81.1%	県 81.3% 国 80.9%	↗	前年度よりも高割合を目指し、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	82.4%				
			小6	80.5%	H26	↗	75.8%	80.7%	80.1%	県 79.0% 国 77.9%	↗	前年度よりも高割合を目指し、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	76.1%				
			中3 年中児	69.3% 88.7%	H26 H25	↗ -	68.9% 96.6%	71.5% 97.9%	73.7% 97.0%	国 71.2% 国 70.7%	↗ →	現状の高割合を維持する。	67.1%				
5 学校・家庭・地 域が一体となっ た教育体制の整 備	2 支援が必要な子ど もに対する教育の 充実	学校生活が充実していると感じる中学生の割合	中1	63.0%	H26	-	60.0%	64.0%	71.0%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	41%	市教委 (Q-Uアンケート)	1年		
			全市民	-	-	-	-	37.4%	-	-	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	-	市民意識調査	1年	
			学校教職員 幼稚園、保育園、小学校	-	-	-	-	10講座 418人	8講座 377人	8講座 383人	前年	↗	前年度を下回らないことを目標と する。	-	市教委調査	1年	
			1 学校の運営体制 の向上と機能強化	職員研修の実績(参加者の延べ件数) 幼保小中連携の交流回数	-	-	-	-	こども126回 教職員36回	こども141回 教職員53回	こども128回 教職員49回	前年	→	現状を維持することを目標とする。	-	市教委調査	1年
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	2 地域の教育力の 活用	地域と連携した事業の実施数 教育活動における地域人材活用の事業数 (学校支援ボランティアの登録者数)	学校	-	-	-	-	-	126	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。	-	市教委調査	1年		
			学校	-	-	-	-	777人	940人	1156人	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。	-	市教委調査	1年	
			1 学校教育施設の 整備	大規模改修件数 耐震化改修施設数	4校 3校	H25 H25	- -	- -	5校 15校 (非構造部材)	5校 15校 (非構造部材)	5校 15校 (非構造部材)	- -	- -	計画の目標件数の達成 計画の目標件数の達成	-	市教委調査	1年
			2 学校外の教育環 境の整備	学校図書 学校図書の整備率(標準を下回る学校) 安心して子どもを預けられる環境があると感じ る人の比率 公民館事業の子どもの参加者数	小1校 中4校 37.3%	H25 H26	- -	小0校 中3校 33.5%	小1校 中4校 39.4%	小1校 中2校 36.8%	前年 前年	↘ ↗	学校図書館図書標準に定められ た割合をすべての学校が上回る 前年度よりも増加することを目標と する。 前年度よりも増加することを目標と する。	-	市教委調査 市教委調査	1年 1年	
きめ細かで特色ある教育環境の整備	3 安全・安心な教育 環境の整備	通学路の安全点検と対策実施箇所(事業数と 改善数)	点検箇所	52 26	H25	-	44 31	36 25	35 22	前年	↘	積み残し件数の減少	0件	市教委調査	1年		

## 元気っ子育成支援プランⅡ 評価指標 調査票

### ○子育て体験講座へのパパの参加数(延べ人数)

担当課:健康づくり課 計画:31頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
91	73	67	96	101	100	98	120		110	人

### ○安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:33頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
37.8	42.5	41.3	39.3	39.4	36.9	39.4	36.8		43	%

### ○子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:39頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
33.5	40.4	36.8	34.7	34.9	34.0	35.4	30.9		38	%

### ○市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合

担当課:家庭支援課 計画:41頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
87.4	90.5	87.5	88.7	92.9	96.6	97.9	97.0		99	%

### ○社員の子育て応援宣言市内登録企業数

担当課:産業政策課 計画:45頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	20	28	43	44		60	社

### ○仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:45頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	45.2	32.7	35.1	33.9		56.3	%

### ○市内のながの子育て家庭優待パスポート事業参加事業者数

担当課:こども課 計画:48頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
102	104	108	114	116	128	135	128		150	社

○離乳食教室参加者数

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
177	181	179	190	193	191	197	159		190	人

○家族と一緒に食事をとる人の割合(幼児)

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	73	83	77.0	80.0		90.0	%

○20歳～49歳の社会増加数

担当課:企画課 計画:54頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
55	△ 18	98	△ 33	△ 18	163	129	80		0	人

○各種定期予防接種の接種済率の平均値

担当課:健康づくり課 計画:57頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	89	85	89	91.0	91.4		90.0	%

○備蓄倉庫への紙おむつの備蓄数

担当課:消防防災課 計画:60頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	—	0	3,200	3,200		4,640	枚

○塩尻は「子育てしやすいまち」であると思う市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:84頁

目標値

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	51.2	58.1	55.4	56.1		59.8	%

○合計特殊出生率(塩尻市)

担当課:健康づくり課 計画:84頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
1.42	1.41	1.48	1.65	1.57	1.53	1.70	—		1.58	人

平成22年度～平成24年度の値は、計画の7頁から転記。

※県の指針待ち

## 塩尻市生涯学習推進プランⅢ 指標一覧

指標	現状値／年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合文化センター利用者数	91,783人	H25	94,154人	94,658人	76,389
総合文化センターの利用者の満足度	80%以上	H24	-	-	-
5つの重点分野をテーマとした事業の開催数	287	H25	29	30	
5つの重点分野をテーマとした事業の参加者数	13,607	H25	14419	16179	
地区公民館・分館における各種講座等の開催数	971	H25	599	773	849
地区公民館・分館における各種講座等の参加者数	17,543人	H25	17,071人	16798	16,740
ふれあいプラザにおける各種講座等の開催数・参加者数	14回・200人	H26	4回 101人	8回 113人	18回 137人
講座受講者の満足度	-	-	89.8点	90.1点	91.2点
未指定等文化財の実態把握実施件数	0	H26	2	2	1
芸術文化施設の利用者数	1,956,162人	H25	106,697人	101,677人	113666人
博物館施設等への入館者数					
短歌館	4,568人	H25	4,479人	4,226人	4,017人
自然博物館	7,766人	H25	8,417人	6530人	7,365人
樽川歴史民俗資料館	3,707人	H25	2,842人	-	-
中村邸	16,082人	H25	12,221人	10,977人	10,820人
木曾漆器館	3,332人	H25	2,464人	3,007人	3,867人
贄川関所	1,841人	H25	1,608人	1,514人	1,582人
平出博物館等	5,543人	H25	4,299人	4,930人	5,536人
本洗馬歴史の里資料館	928人	H25	1,605人	2,014人	2,288人
古田晁記念館	510人	H25	459	415人	435人
塩嶺体験学習の家、柏茂会館の利用者数	2,509人	H26	1,896人	2,425人	2,371
整備された公園設備等→スポーツ施設利用者	475,861人	H25	538,716人	502,335人	508,684
誰でもスポーツに取り組める環境がある	46.2%	H26	-	36.8%	35.3%
学校開放講座等の実施件数	34件	H26	42	44	39
新たに生涯学習施設として利用できるようになった施設	0	H26	0	0	0
市民1,000人あたりのファミリーサポートセンター登録者数	4.74	H25	3.74	5.63	6.6
子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができる	41.5%	H25	39.9%	40.5%	35.9%
子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされている	34.7%	H25	34.0%	35.4%	30.9%
学校図書の一人名あたりの貸し出し冊数	57.1冊	H25	58.5冊	57.7冊	59.6冊
熟年者を対象とした講座の実施回数	122	H25	120	159	159
塩尻ロマン大学・大学院の講座数・参加者数					
大学講座数	52	H25	50	50	50
大学参加者数	146人	H25	115	101	106
大学院講座数	126	H25	168	84	-
大学院参加者数	89人	H25	75	42	-

指標	現状値／年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
スポーツ施設利用者数	475,861人	H25	538,716人	502,335人	508,864
特定健診受診率	41.8%	H25	42.1	42.3	42.7
週2回以上1回30分以上の運動習慣がある人の割合	38.7%	H25	35	34.2	34.9
生活習慣を改善してみようと思う人の割合	27.5%	H25	62.1	63.3	64.2
市主催芸術文化事業への来場者数	20,629人	H26	8,690人	7800人	7100人
社会教育指導員の活動日数	180日	H26	180日	180日	180
総合文化センター登録団体数	231	H26	258	253	219
地域スポーツ団体数	2	H26	3	3	3
総合文化センター利用団体数	7,928人	H25	7,424	7118	6,740
生涯学習講師の年間活動件数(個人・ 団体)	個人	114	H24	-	-
	団体	4	H24	-	-
市主催の芸術・文化事業の展示・発表団体数	126	H26	232	163	165
特定健診受診率(再掲)	41.8%	H25	42.1	42.3	42.7
互いに支え合い、助け合う人間関係が地域に築かれている	51.3%	H26	38.8%	37.7%	43.3%
市民が中心となったまちづくり活動が活発に行われている	35.1%	H26	31.8%	29.9%	28.8%
地域活性化支援事業交付金を活用した事業の参加者数	305	H25	351	2209	566

# スポーツ推進計画の指標及び推進状況

基本目標1 子どものスポーツ機会の充実	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略					
	基準値 (H25)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	H32実績	H33実績	H34実績	H35実績
指標			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	H32実績	H33実績	H34実績	H35実績
スポーツ少年団登録団員数	570人	570人	576人	498人	511人	501人						

## 基本目標2 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進

指標	基準値 (H24)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	H32実績	H33実績	H34実績	H35実績
	週1回以上スポーツに親しむ成人の割合(〇は社会体育意識実態調査による)	【35.4%】	50.00%	31.10%	28.60%	30.10%	32.90% 【40.0%】					
子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境があると感じる人の割合	46.20%	50.00%	46.20%	39.20%	36.80%	35.30%						

## 基本目標3 スポーツを通じた地域づくり

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	H32実績	H33実績	H34実績	H35実績
	市内の総合型地域スポーツクラブの数	2クラブ	4クラブ	2クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ					



サービス内容	サービス指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29.10末	H29年度
資料の収集	蔵書数：45万点（雑誌、視聴覚資料は除く）	438,707	455,816	467,703	476,236	480,591
資料の整理・保存	データ登録せずに保存している資料の一覧を作成し、ホームページで公開する。	-	-	-	-	-
資料の提供	蔵書回転率（全館）：一般1.2以上、児童2以上	一般1.0 児童1.86	一般0.95 児童1.87	一般0.95 児童1.81	一般0.55 児童1.13	一般0.95 児童1.84
レファレンスサービス	レファレンス受付件数（全館）：平成25年度比20%増（平成25年度 1,915件）	1,999(+4%)	1,973(+3%)	2,410(+25%)	2,132(+11%)	3,580(+87%)
分館	レファレンス受付件数：前年度比3%増（平成25年度 896件）	941(+5%)	1,038(+10%)	1,466(+41%)	1,498(+2%)	2,177(+45%)
乳幼児サービス・児童サービス	児童書の蔵書回転率：2以上で維持	1.86	1.87	1.81	1.13	1.84
青少年サービス	中高生向け企画事業の開催回数（全館）：3回/年	4	4	6	4	4
高齢者サービス	シニア世代向け企画事業の開催回数：1回/年	1	0	4	4	4
図書館利用に障害のある方へのサービス	DAISYの所蔵数：500タイトル	100	190	203	212	225
ビジネス支援サービス	ビジネス支援サービスの広報回数：10件以上/年	10件以上	26	39	37	50
子育て支援サービス	全館に子育てを支援するコーナーを設ける。	本館のみ設置	-	全館に設置	-	-
多文化サービス	外国語で書かれた実用書の蔵書数/1,800冊	986	1,008	1,645	1,986	2,080
医療・健康情報サービス	市の担当部署や市内医療機関等と連携を始め、講演会等の企画事業を行う：1回/年	1	0	2	0	1
図書館サポーターとの協働	登録者との意見交換会の開催：1回/年	4	4	6	3	5
郷土資料の充実と活用	郷土資料にかかわる人物等の紹介や、郷土資料を生かした企画事業の開催：3回/年	5	1	4	5	9
学校連携	学校図書館司書の研修の機会：3回以上/年	2	4	5	6	6
企画事業	イベント参加人数（全館）：10,000人/年	12,907	14,092	15,848	-	15,228
情報発信	メディアに取り上げられる回数：50回/年	93	110	194	-	205
デジタル資料の充実と活用	デジタル資料アクセス数：350件/年	298	420	548	-	596

第2次塩尻市子ども読書活動推進計画 数値目標

数値目標の内容	計画時 (H25)	現在の数値 (H29)	目標数値 (H31)
① 学校図書館や地域の図書館の利用の割合※[1]			
児童数の割合 (小6年)	79.90%	74.50%	85%
生徒数の割合 (中3年)	53.60%	60.00%	60%
② 1日に読書をしている児童数の割合※2 (小6年)	87.30%	82.10%	90%
生徒数の割合 (中3年)	76.60%	76.20%	80%
③本と子どもをつなぐ事業への参加者数	8,959人	9,278人	10,000人
おはなし会	3,745人	3,334人	
おはなしプレゼント	3,451人	4,586人	
その他	1,763人	1,358人	
④「こんにちは絵本」(ブックスタート)の配布率	98.40%	99.62%	100%
「なかよし絵本」(セカンドブック)の配布率		68.06%	
⑤子どもの読書環境の数値 団体貸出数	9,837冊	41,116冊	12,000冊

## 平成29年度 塩尻市教育委員会会議等記録

### 1. 教育委員

氏名		任期
山田 富康	教育長	平成28年6月27日～平成31年6月26日
小澤 嘉和	教育長職務代理者	平成28年6月26日～平成32年6月25日
石井 實	委員	平成26年6月22日～平成30年6月21日
林 貞子	委員	平成27年6月26日～平成31年6月25日
嶋崎 栄子	委員	平成29年7月1日～平成33年6月30日
小島 佳子	委員	平成25年7月1日～平成29年6月30日

### 2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案件	
4月27日	4月定例	報告案件	スポーツ推進委員、普及員の委嘱について
			塩尻市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の専決処分報告について
			平成28年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉
			要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉
			学校運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について
		議事案件	平成29年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉
			社会教育委員の任命について
その他案件	図書館協議会委員の任命について		
5月30日	5月定例	報告案件	教育委員会事務局に係る条例等の改正について
			市議会5月臨時会に係る教育委員会報告について
			教育委員会事務局に係る協議会委員の委嘱について
その他案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について		
6月29日	6月定例	報告案件	教育委員会事務局に係る条例等の改正について
		議事案件	市議会6月定例会に係る報告について
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		議事案件	小・中学校通学区域審議会への諮問について
7月20日	7月定例	報告案件	平出地区の重要伝統的建造物群保存地区選定について
			学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
		議事案件	塩尻市中央公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
その他案件	小学校教科用図書の採択について〈期間限定非公開〉		
8月24日	8月定例	報告案件	塩尻市社会体育意識実態調査の実施について
			塩尻市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			平成29年度第31回全国短歌フォーラムin塩尻(一般の部)について
		議事案件	新体育館建設事業について
			学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉
その他案件	平成29年度教育委員会関係補正予算(案)について〈期間限定非公開〉		
	教育委員会関係例規改正(案)について		
	平成29年度 全国学力・学習状況調査結果の公表について		

期日	会議	案 件	
9月26日	9月定例	報告案件	市議会9月定例会に係る教育委員会報告について
		議事案件	檜川地区文化施設費川関所の冬期休館について
10月26日	10月定例	報告案件	塩尻市教育振興審議会委員の委嘱に係る教育長専決報告について
		議事案件	社会教育主事の発令について
			平成29年度全国学力・学習状況調査結果の結果について
11月28日	11月定例	報告案件	登録有形文化財(建造物)の新規登録について
		議事案件	塩尻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について
			平成29年度塩尻市教育委員会自己点検・評価について
		その他案件	国民体育大会の主会場誘致に伴う要望書の提出について
			教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について<期間限定非公開>
平成29年度教育委員会関係補正予算(案)について<期間限定非公開>			
12月21日	12月定例	報告案件	市議会12月定例会報告について
		その他案件	平成30年度教育委員会関係予算要求主要事業について<期間限定非公開>
1月25日	1月定例	議事案件	塩尻市教育振興審議会委員の委嘱について
			学校職員に対する指導上の措置について<非公開>
		その他案件	重要文化財小松家住宅について
2月20日	2月定例	報告案件	教職員の負担軽減について
		議事案件	塩尻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について
			塩尻市教育委員会処務規程及び塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
			塩尻市学校職員の自家用車の公務取扱規程の一部を改正する訓令
			塩尻市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則
			塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令
		塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令	
		その他案件	塩尻市小・中学校における副学籍による交流及び共同学習実施要綱の制定
教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について<期間限定非公開>			
平成29年度教育委員会関係補正予算(案)について<期間限定非公開>			
			平成30年度教育委員会関係予算(案) 概要<期間限定非公開>

期日	会議	案 件	
3月22日	3月定例	報告案件	宗賀中央保育園の火災について
			市議会3月定例会報告について
			平成30年度教育センター研修講座について
			平成30年度塩尻市立学校の休業日に係る専決報告について
			教育委員会事務局4月1日付人事異動について
			長野県公立高等学校入学者選抜の結果〈非公開〉
		議事案件	市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の退任及び新規委員の委嘱について
			教育委員会個別計画の見直しについて
		その他案件	教育委員会事務局に係る個別計画の見直しについて
社会体育意識実態調査の結果について			

### 3. 協議会

期日	協議事項
4月27日	平出地区重要伝統的建造物群保存地区の選定事業の進捗について 塩尻志学館高等学校学校評議員の選出について
5月30日	小・中学校通学区域審議会への諮問について 児童生徒数の推計 主幹指導主事の学校訪問日程について 子育て応援BOOKについて 元気っ子応援協議会について
6月29日	瀧川照子作品の寄贈について 要保護児童対策地域協議会報告 早ね早おき朝ごはん・どくしょ推進委員会報告
7月20日	コミュニティ・スクール視察研修について
8月24日	平沢地区交差点改良事業について 平成29年度松塩筑教育課程研究協議会について 市内小学校運動会について 教育委員視察研修について
9月26日	全国学力・学習状況調査の公表内容について 総合教育会議について 教育委員会自己点検・評価について 視察研修について
10月26日	教育委員会自己点検・評価について こんにちは教育委員会について
11月28日	新体育館の基本設計について 塩尻市小・中学校における副学籍による交流及び共同学習実施について 国道19号平沢地区交差点改良について 学校施設・諸表簿点検について
12月21日	塩尻市社会体育意識実態調査について(中間報告) 平成30年度教育委員会会議日程(案)について 通学区域見直しに係るアンケートの実施について
1月25日	塩尻市北部交流センター設置に向けた進捗状況について 塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員への感謝状の贈呈について 塩尻市立小・中学校における副学籍による交流及び共同学習実施要綱の制定について 教職員負担軽減について 平成30年度教育委員会会議日程(案)について

2月21日	各課個別計画の見直しについて 平出地区重伝建選定に係る現状について 奨学資金貸与事業について 卒業式・入学式の出席校の調整について 平成30年度教育委員会関係行事等予定について
3月22日	通学区域の見直しについて 年度末・年度はじめ諸行事について 学校運営協議会委員の任命書交付について 平成29年度の教育委員会活動について

#### 4. こんにちは教育委員会

11月20日 片丘小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談  
1月31日 宗賀小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談

#### 5. 教育委員研修

8月 4日 岐阜県岐阜市 コミュニティ・スクール研究大会in岐阜  
10月27日 東御市 長野県市町村教育委員会研修総会  
11月8・9日 茨城県つくば市 市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）

#### 6. 主幹指導主事学校訪問

6月28日 吉田小学校  
6月30日 洗馬小学校  
7月 5日 桔梗小学校  
7月21日 広陵中学校  
9月25日 木曾檜川小学校・檜川中学校

#### 7. 諸表簿・施設等点検

12月14日 両小野中学校  
12月18日 塩尻西小学校  
12月19日 丘中学校  
12月20日 塩尻中学校  
12月22日 広丘小学校  
12月25日 塩尻東小学校  
1月11日 塩尻西部中学校

8. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
4月20日	図書館	ビジネス情報相談会
4月21日	交流支援課	ほっとHOTおいしい珈琲の淹れ方講座
4月22日	平出博物館	「妙義山城を歩こう」トレッキング
4月24日	男女共同参画・人権課	「人権の花運動」花の種贈呈式
4月27日	図書館	第1回DVD鑑賞会
4月30日	交流支援課	えんぱーくで夢をみつけよう～クリエイターの仕事編～
5月7日	図書館	ポタニカルアート展山田恭子ギャラリートーク
5月13日	図書館	えんぱーくチャリティーコンサート
5月13日	交流支援課	レコード交流会
5月14日	生涯学習スポーツ課	第29回塩尻市ファミリースポレクフェスティバル
5月14日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「「かさなこ」に耳を傾けたか」 高峰武氏
5月18日	図書館	ビジネス情報相談会
5月19日	こども課	児童館CAFÉ（カフェ）オープニングセレモニー
5月21日	図書館	多読講座「多読入門」
5月27日	自然博物館	烏川渓谷緑地探鳥会(水辺エリア)
4月29日～ 5月28日	平出博物館	企画展「住まいの考古学－縄文のイエー」
5月30日	生涯学習スポーツ課	ティータイムに短歌を作ろう
6月3日	平出博物館	土曜サロン「松本平の古墳をさぐる－穂高古墳群－」
6月3日	子育て支援センター	ファミリーサポート交流会市民講座 おはなしおばさん藤田浩子さんによる「あの頃のあの遊び」
6月3日	図書館	読書活動グループ連絡会公開研修会「藤田浩子さんとお話し小道具であそぼう」
6月4日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾「塩尻・洗馬地域の天明天保期の災害」
6月10日	教育総務課	給食レストラン
6月11日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
6月11日	生涯学習スポーツ課	塩尻市民芸術祭・舞台発表の部
6月13日	子育て支援センター	子育てサポーター&地域ボランティア第1回養成講座・市民講座「聴くだけで子育てが楽しくなる話」
6月14日	家庭支援課	子育て公開講座
6月15日	図書館	ビジネス情報相談会
6月15日	図書館	信州の山に親しむ山岳展
6月17日	こども課	ジュニア・リーダー養成講座開講式及び第1回研修会
6月17日	交流支援課	ちびてつ2017(第1回)
6月18日	自然博物館	上高地自然観察会
6月18日	生涯学習スポーツ課	第27回スポレクバイアスロン大会
6月18日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「酒と本があれば、人生何とかやっていける」河谷史夫氏
6月19日	子育て支援センター	子育てサポーター&地域ボランティア第2回養成講座・市民講座「地域における子育て支援の必要性とその理解」
6月20日	教育総務課	塩尻市のコミスクを考える市民集会夏季大会
6月22日	中央公民館	あったか親子の子育て講座
6月24日	自然博物館	第39回自然博物館自然科学講座
6月25日	図書館	「こども本の寺子屋」目指せ「図書館マスター」開講式(全11回)
6月25日	図書館	韓・日出版文化フォーラム
6月26日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「今、あらためて図書館を考える」内野安彦氏
6月 20・24日	図書館	図書館サポーター養成講座①(全2回)
6月 22・29日	図書館	読み聞かせ講座(全2回)

期日	担当課	行事名
6月 24～25日	平出博物館	大人の土器づくり講座
6月 9～11日	生涯学習スポーツ課	塩尻市民芸術祭・展示発表の部
7月1日	男女共同参画・人権課	共働き夫婦のためのイマドキお片づけ講座
7月2日	短歌館	短歌大学第110講
7月2日	平出博物館	ひらいてミュージアムコンサート～音楽とつながる世界の民話～
7月2日	図書館	子ども本の寺子屋「本ができるまで見学バスツアー」
7月2日	交流支援課	ビジネス接遇マナー研修（第1回）
7月3日	男女共同参画・人権課	臨床心理士とアロマ・インストラクターが伝える心を満たすセルフ・ケア習慣「自分を大切にすることから始まる、幸せ毎日の作り方」
7月8日	平出博物館	土曜サロン「長野盆地の古墳をさぐる-大室古墳群-」
7月8日	生涯学習スポーツ課	普通救命講習会
7月8日	子育て支援センター 交流支援課 図書館	おいでおいでまつり 2017
7月9日	本洗馬歴史の里資料館	金井庵寺子屋塾「柳田國芳と『栗坂厚徳伝』加藤」の刊行
7月9日	生涯学習スポーツ課	第13回塩尻市民音楽祭 管弦楽発表
7月13日	こども課	しおじり巡回子育て応援講演会
7月15日	交流支援課	ちびてつ2017（第2回）
7月16日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「もう一度『文学』と出会うために」斎藤美奈子氏
7月16日	図書館	アジアの暮らしを学ぼう
7月17日	図書館	図書館で謎を解け！～本の調べ方・探し方講座
7月20日	図書館	ビジネス情報相談会
7月22日	図書館	夜のこわーいおはなし会
7月23日	図書館	信州しおじり本の寺子屋地域文化サロン「塩尻が生んだ不世出の詩人 島崎光正の世界」田中欣一氏
7月23日	自然博物館	霧が峰自然観察会
7月 11・15日	図書館	図書館サポーター養成講座② （全2回）
7月 15・16日	こども課	ジュニア・リーダー養成講座第2回研修会
4月22日 ～7月9日	自然博物館	植物画ゴールドメダリストによる「ボタニカルアート6人展」
6月3・17日 ・7月1日	本洗馬歴史の里資料館	ギャラリートーク「山野草を語ろう」
6月30日 7月7・14日	図書館	ボイストレーニング講座（全3回）
4月21日～ 7月23日	本洗馬歴史の里資料館	釜井庵山野草展とギャラリートーク
8月3日	図書館	第2回DVD鑑賞会「父と暮せば」
8月5日	図書館	子ども本の寺子屋「絵本専門士とゆかいな仲間たちおはなしファミリーコンサート」
8月6日	短歌館	短歌大学第110講
8月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「作家生活30年を振り返って」長野まゆみ氏
8月7日	男女共同参画・人権課	人権研修会（デートDV防止教職員ワーク）
8月11日	図書館	うんこ漢字テスト
8月11日	交流支援課	夏のふしぎ科学工作講座～夏の自由研究を作ってみよう！～
8月12日	図書館	手話でたのしむおはなし会
8月17日	図書館	ビジネス情報相談会
8月19日	図書館	信州しおじり本の寺子屋地域文化サロン「出版人中野幹隆と哲学書房の魅力」小林浩氏

期日	担当課	行事名
8月19日	交流支援課	ちびてつ2017（第3回）
8月20日	交流支援課	避難所運営ゲーム(HUG)体験&ファシリテーター養成講座
8月25日	こども課	しおじり巡回子育て応援講演会
8月26日	生涯学習スポーツ課	第37回塩尻市民水泳大会
8月26日	平出博物館	土曜サロン「飛び出せ土曜サロン〜研馬宗の口境ととくろへ〜」
8月27日	交流支援課	ビジネス接遇マナー研修(実践編)
8月27日	こども課	児童館まつり
8月2・3日	家庭支援課	特別支援教育研修会
8月26~27日	生涯学習スポーツ課	塩尻市民音楽祭バンド発表
7月7日~8月7日	本洗馬歴史の里資料館	釜井庵七夕飾り
7月15日~8月31日	自然博物館	夏休み昆虫展
7月22日~8月31日	中央公民館	長野県は宇宙県サマー・スタンプラリー参加「四季の星空観察会」
9月2日	図書館	森のフェスティバル
9月2日	交流支援課	こども松岡道形教室エカヤクス「のりものごっこ」フェスティバル
9月3日	平出博物館	第14回 ひらいで遺跡まつり
9月3日	図書館	多読講座「楽しい英語多読をはじめよう！」
9月6日	子育て支援センター	「乳幼児の救急法」
9月7日	男女共同参画・人権課	すセルフ・ケア習慣①「イライラをリセット!~わきおこるネガティブな気持ちと上手に付き合おう」
9月9日	自然博物館	自然博物館協力会会員研修会
9月9日	こども課	ジュニア・リーダー養成講座第3回研修会
9月9日	平出博物館	土曜サロン「佐久平の古墳を探る」
9月9日	図書館	「トリック☆トリック☆トリック」理科読スペシャル
9月10日	生涯学習スポーツ課	第9回塩尻ぶどうの郷ロードレース大会
9月10日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修
9月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「唐牛健太郎の魅力ー『唐牛伝』執筆の動機ー」佐野真一氏
9月12日	交流支援課	シニア講座「オシャレなステンドグラス調ライトづくり」
9月14日	こども課	しおじり巡回子育て応援講演会
9月16日	交流支援課	ちびてつ2017（第4回）
9月23日	教育総務課	給食レストラン
9月24日	本洗馬歴史の里資料館	釜井庵寺子屋塾「松本平南部の仁科街道」
9月26日	図書館	お母さんのための絵本講座
9月28日	図書館	第3回DVD鑑賞会
9月30日	子育て支援センター	子育て支援講座「ベビーマッサージ&命の学習」
9月23・24日	生涯学習スポーツ課	第31回全国短歌フォーラムin塩尻
9月28・29日	中央公民館	第65回長野県公民館大会
7月29日~9月3日	平出博物館	企画展「顔・かお・貌」
10月1日	教育総務課	給食レストラン
10月1日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「江戸の本屋と本づくり」橋口侯之介氏
10月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「行きつ戻りつ絵本創り」とよたかずひこ氏
10月14日	平出博物館	土曜サロン「伊那谷の古墳をさぐるー飯田古墳群ー」
10月15日	本洗馬歴史の里資料館	釜井庵寺子屋塾「仁科街道から野麦峠への旅」
10月21日	交流支援課	ちびてつ2017（第5回）
10月21日	こども課	親子でイクジー・えんぱー保育園第4回ジュニア・リーダー養成講座

期日	担当課	行事名
10月22日	平出博物館	長野県立歴史館休学正画展関連山前講座「進化する縄文工器」
10月22日	図書館	お父さんのための絵本講座
10月22日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会古田晁記念館文学サロン「古田晁に愛された人々」持田鋼一郎氏（元筑摩書房社員、紀行・伝記作家、歌人、翻訳家）
10月22日	生涯学習スポーツ課	第12回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル
10月29日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「子どもが育つ読書支援を目指して～小学生への本の手渡し方を考える」小幡草子氏（皇學館大学 教育学部 助教）
10月29日	自然博物館	自然観察会「化石館見学と化石採集」
10月29日	短歌館	短歌大学第112講
10月29日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
10月14・15日	交流支援課	こどもアトリエタウン2017
11月3日	生涯学習スポーツ課	塩尻市民文化祭・舞台発表の部
11月3日	図書館・交流支援課	読書週間スペシャルデー
11月3日	交流支援課	出張ちびてつ 親と子供の絵本てつがく
11月3日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋『POPづくり講座』
11月3日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会『いないいないばあ』50年の歩み酒井京子氏（株式会社童心社代表取締役会長）
11月3日	図書館	読書週間スペシャルデーぐるぐるぶっくす
11月11日	こども課、家庭支援課、教育総務課、図書館	子育て応援イベント（子育て応援講演会、元気っ子講演会、学校給食レストラン、出張図書館、子育て相談）
11月12日	本洗馬歴史の里資料館	紅葉の釜井庵で短歌を
11月12日	交流支援課	「寺子屋 古村和歌の世界」講演会～世界の美しい風景を求めて～
11月18日	交流支援課	ちびてつ2017（第6回）
11月18日	こども課	ジュニア・リーダー養成講座第5回研修会
11月19日	本洗馬歴史の里資料館	本洗馬歴史講演会「三村氏と武田信玄～塩尻峠の戦いと夜泣
11月22日	家庭支援課	元気っ子研修会
11月23日	交流支援課	第2回レコード交流会
11月24日	子育て支援センター	おはなし玉手箱～秋の音楽を楽しもう！～
11月25日	自然博物館	第40回自然科学講座『化石は語る』～信州が海だった頃～
11月25日	生涯学習スポーツ課	第31回全国短歌フォーラムin塩尻「学生の部」
11月26日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会「司馬遼太郎『関ヶ原』の映画化が夢だった」原田真人氏（映画監督・脚本家）
11月26日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修（翌年度生徒会役員を対象に開催）
11月27日	生涯学習スポーツ課	ファミリースポレクフェスティバル第5回ワンバウンドふらば～るバレーボール大会
11月30日	図書館	レザンホール課外活動コンサート
11月1～3日	生涯学習スポーツ課	塩尻市民文化祭・展示発表の部
10月16・28日	こども課	しおじり巡回子育て応援講演会
11月6・14日	こども課	しおじり巡回子育て応援講演会
9月8日～11月26日	本洗馬歴史の里資料館	「柳田国男と真澄遊覧記展」
9月9日～11月5日	自然博物館	南アルプス 戸台の化石展
12月2日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	えんぱーくクリスマス2017
12月3日	図書館	信州しおじり本の寺子屋地域文化サロン「信州の昆虫食が世界を救う」
12月7日	図書館	江口みつおき絵本原画展
12月9日	男女共同参画・人権課	豊かな心を育む市民の集い

期日	担当課	行事名
12月10日	生涯学習スポーツ課	第11回塩尻市民演劇フェスティバル
12月16日	交流支援課	ちびてつ2017(第7回)
12月16日	こども課	ジュニア・リーダー養成講座第6回研修会及び閉講式
12月17日	図書館	「目指せ!図書館マスター」修了式
12月17日	平出博物館	平出歴史大学「骨が語る日本の歴史-I」～骨から探る先史時代の「生・老・病・死」～
12月9・10日	交流支援課	市民営提案事業こどもだけの街 第2回こどもしおじり
1月5日	生涯学習スポーツ課	第52回新春書き初め大会
1月7日	生涯学習スポーツ課	平成30年塩尻市成人式
1月8日	交流支援課	えんぱーくで夢を見つけよう～地域で働く技術者編～
1月13日	図書館	新春スペシャルおはなし会
1月14日	平出博物館	平出歴史大学「骨が語る日本の歴史-II」～人類が出現してから日本列島に到着するまで～
1月14日	塩尻短歌館	短歌の里コンサート①
1月20日	交流支援課	ちびてつ2017(第8回)
1月20日	平出博物館	ひらいで考古雑談～私の考古学履歴書～
1月27日	(生涯学習スポーツ課)	塩尻市スポーツ推進委員協議会設立50周年記念事業
1月27日	教育総務課	塩尻市のコミュニティ・スクールを考える市民集会～冬季大会～
11月11日～1月21日	自然博物館	木のおもちゃ展
2月1日	交流支援課	主婦のためのリバウンドしない片付け術
2月4日	塩尻短歌館	第23回短歌の里百人一首大会
2月10日	平出博物館	ひらいで考古雑談～私の考古学履歴書～
2月10日	図書館	英語deおはなし会
2月15日	交流支援課	主婦のためのリバウンドしない片付け術
2月17日	交流支援課	ちびてつ2017(第9回)
2月25日	図書館	POPコンテスト授賞式
2月8・15日	交流支援課	主婦のためのリバウンドしない片付け術
3月3日	子育て支援センター	子育て支援講座「ひなまつりコンサート」
3月3日	図書館	藤岡牧夫ギャラリートーク
3月4日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「tupera tuperaと春・なりきりお面を作ろう!」亀山達矢氏
3月10日	生涯学習スポーツ課	平昌2018パラリンピックアイスホッケー競技パブリックビューイング
3月11日～18日	中央公民館	第2回まなび庵絵画展
3月22日	子育て支援センター	おはなし玉手箱
3月17日	交流支援課	こども絵画造形教室エカキッズ「ようかい仮面を作ろう」
3月18日	図書館	信州しおじり本の寺子屋映画上映・講演会 「家族の軌跡～3.11の記憶から」大西暢夫氏(写真家、映画監督)
3月18日	交流支援課	tent(テント)『学校とはちょっと違う、学び』
3月24日	交流支援課	えんぱーく科学館
2月27日～3月25日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 絵本原画展「森のくまさん」
3月2日～3月31日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 写真展「家族の軌跡～3.11の記憶から」大西暢夫氏(写真家、映画監督)

9. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
5月 1日号	1	交流支援課	「春の恒例イベント「さくらフェスタ2017」が開催され、桜並木の下、来場者は春の一日を楽しんでいました」(表紙の写真)
5月 1日号	2	子育て支援センター	特集「子育てしたくなるまちを目指して」
6月 1日号	6	こども教育部	特集「子育てするなら塩尻市」
8月 1日号	2	図書館	特集「図書館を楽しもう」
9月 1日号	2	生涯学習スポーツ課	特集「触れてみませんか 短歌の世界」
10月 1日号	2	教育総務課	特集「地域で子どもたちを育てる」
10月 1日号	1	こども課	特集「保育園等入園手続きのご案内」
11月 1日号	1	家庭支援課	特集「児童虐待防止推進月間」
11月 1日号	1	こども課	特集「児童クラブなどの利用説明会」
12月 1日号	1	生涯学習スポーツ課	表紙の写真「紅葉の時期を迎えた釜井庵で、短歌を詠むイベントが開催されました。」(表紙の写真)
12月 1日号	1	教育総務課	特集「全国学力・学習状況調査報告」
12月 1日号	1	男女共同参画・人権課	特集「人権相談のお知らせ」
1月 1日号	2	生涯学習スポーツ課	特集「全国短歌フォーラムin塩尻 「学生の部」
2月 1日号	1	生涯学習スポーツ課	「毎年恒例の「新春書き初め大会」。参加者は、新たな年のスタートに気持ちを引き締めて筆を運んでいました。(表紙の写真)」
2月 1日号	2	交流支援課	特集「まちづくりチャレンジ事業補助制度」



---

---

**平成30年度  
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成30年11月

塩尻市教育委員会  
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号  
電話 (0263) 52-0280 (代)  
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>

---